

令和 4年度 定期モニタリング評価表（年間）

公表用

施設名	枚方市立生涯学習市民センター・ 図書館（楠葉・津田）	所管部署 （連絡先）	観光にぎわい部文化生涯学習課（072-841-1409） 教育委員会中央図書館（050-7105-8110）	令和 5年 6月実施
-----	-------------------------------	---------------	---	------------

この定期モニタリングでは、以下の表の評価項目・視点により確認を行いました。

評価項目	評価の視点	
1 業務の履行状況	事業・業務等が適正に実施されているか否かについて、実施状況・実施体制を確認します。	
(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項	市民ニーズの把握・対応状況	アンケート調査等の実施により、市民（利用者）のニーズを把握し、その結果を踏まえて改善を行います。
(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）	経済性	料金収入や委託料等の収支状況について、当初の収支計画と乖離がないか、適正な内容となっているかについて確認します。
(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項	サービス水準	指定管理者によるサービス水準が適切なものとなっているかについて確認します。
(4) 改善指示等への対応状況	リスクマネジメント	緊急事態発生時や機器・設備故障時等における対応状況や、対応体制・対応方法について確認します。
2 業務の継続性・安定性	指定管理者の財務状況が継続的、安定的にサービスを提供できる状態にあるかについて確認します。	

施設の概要等			
所在地	枚方市楠葉並木2-29-5・枚方市津田北町2-25-3	主な業務内容	【生涯学習市民センター】 ・生涯学習活動に係る情報の収集及び提供を行うこと。 ・生涯学習活動に係る交流の促進その他生涯学習活動の支援を行うこと。 ・センターの施設及び附属設備を生涯学習活動及び協働によるまちづくりに係る活動の用に供すること。 ・センターの施設等を社会教育法(昭和24年法律第207号)に基づく社会教育事業の用に供すること。 【図書館】 ・教育と文化の発展に係る図書館事業の実施に関すること。 ・読書案内及びレファレンスに関すること。 ・図書館資料の選択、貸出し、整理、修理、保存および除籍に関すること。
設置目的	【生涯学習市民センター】 市民の学習活動及び芸術等の文化活動を支援するとともに、地域におけるコミュニティ活動の活性化を促進することにより、市民が生涯にわたって学び続けることのできる環境を醸成し、並びにこれらの活動を通じた市民との協働によるまちづくりを推進する。 【図書館】 図書その他必要な資料を収集し、整理し、及び保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、余暇活動等に資するため、図書館法の規定に基づく図書館を設置する。		
指定管理期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日 (2018年4月1日から2023年3月31日)		
指定管理者			
名 称 (JVの場合はグループ名)	枚方まなびつながりプロジェクト	代表団体 (JVの場合)	大阪ガスビジネスクリエイト株式会社
所在地(JVの場合は代表団体の所在地)	大阪市西区京町堀1丁目4番16号	構成団体 (JVの場合)	株式会社リブネット 京阪ビルテクノサービス株式会社

1 業務の履行状況

(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
5	計画以上に独自の新たなサービスを提供し、特に良好な管理運営を行っている。
4	計画以上の良好な管理運営を行っている。
3	計画どおりの適正な管理運営を行っている。
2	一部計画とおりにできていない、又は改善が必要であるが、概ね適切な管理運営を行っている。
1	全く計画とおりにできていない、又は一部不適切な管理運営が行われている。

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
【施設の経営方針に関する事項】				
①施設の現状に対する考え方及び将来展望				
施設の設置目的等を踏まえた現状認識及び今後の方向性が明確に提案されている（確認事項6）				
・「学びと活気のある場所」となるための取り組み	4	生涯学習市民センター «共通» ◆2022年度 施設稼働率 楠葉：54.2%（昨年度47.5%） 津田：42.5%（昨年度40.0%） ◆2022年度 新規利用団体登録数 楠葉：50団体（昨年度57団体） 津田：32団体（昨年度27団体） ① 館内ロビーにサークル紹介コーナー設置。 楠葉 常時60団体程度紹介 （昨年度＋2団体） 津田 常時30団体程度紹介 （昨年度＋1団体） ② ホームページのサークル紹介コーナーを昨年度下期から継続更新。 楠葉10,873PV（昨年度比183.6%増） 津田7,501PV（昨年度比247.6%増） 〈楠葉〉 ①「ポケットギャラリー」での作品展示（7回）、「くずはミニコンサート（9回）」への出演等、利用団体の発表の場を設けて活動支援。 ② Facebook、Instagram等センター公式SNSを活用して、サークル活動の様子、イベント風景を紹介。 〈津田〉 ① サークル活動活性化の新たな取り組みとして9月に「つだ生サークル体験仮入部」（参加10団体、体験延べ36名）、11月に「サークル見学WEEK」（参加27団体、体験延べ28名）を開催。新たな告知媒体として「ぱど」に開催告知を1万部折込みするなど積極的にPR	4	サークル活動等の情報発信を積極的に行い、新規利用者層の開拓を行うとともに、サークル活動の発表の機会を提供することで、既存のサークルの活性化・持続化に繋げている点を評価します。

		活動を行った結果、健康体操に新たなメンバーが加入、韓国語サークルの夜間区分の新クラス立ち上げに成功。※「ばど」による来場者9名。今後も費用対効果がより期待できる告知媒体を活用していく予定。 ② 夜間区分の利用促進、趣味を通じた仲間づくりを目的とした現役世代向け交流会「大人の秘密基地シリーズ」を新たに開催（12月）。新たな利用者層の開拓を積極的に推進している。 ③ 新規利用者獲得の取り組みとして施設への道順案内動画（視聴数395回）、部屋紹介動画（保育室、料理室、第一集会室、フリールーム、音楽室で総視聴回数311回）を作成しホームページで公開。最寄りの藤阪駅には道順案内看板も新設。 ④ 初級人形劇講習会参加者のサークル化に成功。人形劇連絡会へも加入し新たなセンター利用団体として活動中。その他にも「星空ボランティア育成講座」「植物セミナー」をはじめとした自主事業参加者に対して積極的にサークル立ち上げ支援を行っている。 ⑤ ホームページ、センターだよりで活動サークルの紹介を継続実施中。公式YouTubeチャンネルでは活動サークルを動画で紹介する「つだサークル探訪」をシリーズ化して公開中。新たに「ボーイスカウト枚方9団」をご紹介するなど活動内容やメンバー募集状況等のサークル情報も広く発信中。 （サークル探訪総再生回数509回）（チャンネル登録者数32名） ⑥ 大阪工業大学（情報科学部）と連携した小学生向けの「親子で体験！VR防災トレーニング」、子育て世代を対象とした「絵本で子育て」「えほんのひろばnつだ」などライフステージに応じた学習機会を提供している。 ⑦ 3階ロビーにレコード鑑賞コーナーを継続設置中。クラシック音楽を中心にリラックスしていただける環境づくりに努めている。まちなか水族館、植物園、昆虫館も継続実施中。 ⑧ 「ウインターコンサート」と題した季節コンサートシリーズを新たに開催（12月）し、利用団体の発表機会を増やし練習利用による稼働率向上に取り組んでいる。		
・図書館の基幹業務の徹底を徹底している	3	図書館 «共通» ① 図書館の基幹業務である資料提供（貸出）、確実な返却処理、予約・リクエスト対応、図書紹介（展示）等をしっかりとこない、継続的かつ安定的なサービスの維持向上に努めた。 ② 今年度、改めて館単位で「接遇研修」を実施し日々の行動を振り返る機会とした。（9月） ③ 「本の消毒機」の利用促進はじめ今夏も来館者に「ウエットティッ	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		シュ」(ウォーターサーバー代替・熱中症対策)を進呈した。 ④ 上半期の貸出冊数は、9月15日～30日の16日間の臨時休館の一部影響もあり、楠葉は前年度対比91%に、津田は92.8%に落ち込んだが、下半期は、秋の図書館まつりや大人・子ども向けの本の福袋の企画を実施し、楠葉は前年度対比99.4%、津田は107.3%となった。年間では楠葉95.0%、津田99.7%となっている。 2022年度の実施状況 【別紙資料 各館別月別実績】 〈楠葉〉 利用統計 年間/昨年同期/対前年度比 年間総貸出冊数:399,047冊 (昨年同期:419,970冊) (95%) 年間利用者人数: 133,332名 (昨年同期:138,025名) (97%) 年間新規登録者数: 980名 (昨年同期:1,077名) (-97%) 〈津田〉 利用統計 年間/昨年同期/対前年度比 年間総貸出冊数:202,195冊 (昨年同期:202,713冊) (99.7%) 年間利用者人数: 56,889名 (昨年同期:56,484名) (100.7%) 年間新規登録者数: 635名 (昨年同期:651名) (-16%)		
--	--	---	--	--

・地域に根差した図書館運営	3 図書館 «共通» With コロナに方針が切り替わった本年度、引き続き感染拡大防止に努めながら日常業務を遂行。地域の方々のいちばん身近な図書館としてきめ細やかなサービスに努めた。 〈楠葉〉 ① 小学校からの図書館見学・小学校訪問おはなし会・中学校職場体験学習の際に楠葉図書館のイベント案内・おすすめ本リスト等をお渡しし、楠葉図書館をアピールして来館を呼び掛けた。 ② 11/27に「くずは発掘！よもやま話」というテーマで楠葉についての歴史文化講演会を開催（29名参加）。地域について詳しく知ってもらう場を設けた。 〈津田〉 ① 小学校からの図書館見学・小学校訪問おはなし会の際に津田図書館のイベント案内・児童書コーナーだより等をお渡しし、津田図書館になじみのない子にも親しみをもってもらうよう努めた。 ② 近隣にお住まいで長年ボランティアとして紙芝居読み聞かせをなさっている方と協力して紙芝居読み聞かせ講座を開催した。（6/11。7名参加）。参加者の中にはその後毎月の紙芝居読み聞かせに参加してくださる方もあり。 ③ 地域の図書館窓口として枚方の図書館全体への要望を気軽に相談してもらえるよう努めた。（中央図書館に報告して改善いただいた点、1件） ④ 近隣にお住まいでボランティアとして津田図書館に関わってくださっている方にご協力いただき、同じく市内在住の方に講師となつていただきイベントを開催した。（体験を語る会3/26。10名参加）	3 本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・業務の効率化や構成各社のバックアップ等による経費縮減	3 生涯学習市民センター «共通» 月次点検の実施以外に月例の施設会議時に合わせて、KBTファシリティリーダーがJV内年間修繕計画に基づき作成したチェックリストにて	3 本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		施設内外の巡回を実施。簡易な不具合修繕を行う等、施設老朽化に伴う経年劣化箇所の予防保全、経費節減に努めた。具体的な事例としてLED化により取り外した蛍光灯安定器のバッテリーを他の点灯不良箇所へ流用。 〈楠葉〉 京阪グループが構成企業であるメリットを活かし、地域密着の関連媒体を活用した広報活動。（K-PRESS出稿、駅貼りポスター年間掲出等）		
・施設の改修費用や広報費用など、サービスアップのための必要経費を確保	3	生涯学習市民センター 〈楠葉〉 ① 入口自動ドア、室内空調機の経年劣化を軽微な段階で施設巡回時に発見、上期中に修繕完了。 ② K-PRESSでの施設PR記事出稿・郵便局ラックを活用したセンターだより配架等、年度予算に組み入れ実施。年間4回出稿 郵便局ラック30部2局(毎月配架) 〈津田〉 ① 第3集会室の蛍光灯を全てLED化。 ② 利用者からご要望の多かったバイク専用駐輪場を新設 ③ 「つだ生～サークル体験仮入部～」の開催告知チラシを関西ばどにチラシを折込み（津田・藤阪地区10,000世帯に配架） 郵便局ラック広告枠を定例で確保してセンター図書館だよりを配架し外部発信している。郵便局ラック50部1局(毎月配架) 図書館 «共通» ① 図書館内（利用者・スタッフ）から感染者を出さないよう利用者の安心安全面を最優先に感染症対策に取り組んできた。 ② 年度当初に修繕年間計画を立て、常にセンターと連携し適正な支出に努めてきた。（※計画案件を最優先とし、緊急・臨時的案件を随時着手） 〈楠葉〉 ① 一般書書架（両面5連6段書架/3本）の修繕を実施。（9月） ② 事務室扉（ヒンジ交換・取り付け、丁番交換・取り付け2カ所）（5月） 〈津田〉 利用者が快適に利用できるように、昨年度に引き続き椅子の張替を実施し、完了させた。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

②施設運営に関する計画				
(ア) 管理経費・管理体制の提案				
業務繁忙時にも対応できるよう、施設に必要な従事者を適正に配置するとともに、利用者サービス向上、効率的・効果的な管理運営の観点から踏まえた実施体制等について提案されている（確認事項8）				
・施設に必要な従事者の配置	3	生涯学習市民センター <楠葉> 館長、リーダー、サブリーダー、スタッフ計10名を配置。（内1名は障がい者雇用） <津田> 館長、リーダーサブリーダー、スタッフ計11名を配置 （内1名は障がい者雇用） 図書館 <共通>※令和5年3月末現在 楠葉図書館・津田図書館の司書資格保有率82%。 <楠葉> 館長、リーダー、サブリーダー、スタッフ計20名を配置。（内2名は障がい者雇用） <津田> 館長、リーダー、サブリーダー、スタッフ計14名を配置。（内2名は障がい者雇用）	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・効率的な運営体制	3	生涯学習市民センター <共通> 4施設の所長が持ち回りでオブザーバーとして参加する生涯学習業務リーダー会議を毎月開催し、所長代行としてコロナ禍でのオンライン事業の充実や4館での業務平準化に取り組んでいる。また会議では実務担当者としてのリーダー目線で運営課題を洗い出し、4館統一の利用者アンケートや研修などに反映。今後も所長代行としての意識を高め施設の中心人材として育成を図る予定。 図書館 <共通> 業務仕様書に定められた資格保有率70%を上回る司書を配置し	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		た。「事務分掌」を定め、図書館業務（貸出・閲覧、蔵書管理、児童サービス、バリアフリー読書支援）を4グループの執行体制（かつ正副体制）で日々の業務に取り組んだ。 ※十分な司書の配置を行うことで利用者ニーズに対し、スピーディーかつ効率的に対応できる運営体制を整えた。		
・様々なサポート体制	4	生涯学習市民センター «共通» 支障なく運営ができるよう御殿山・菅原Gも含めた4館での応援体制を確立している。 〈楠葉〉 3年ぶりに開催された「くずは5月祭」では利用者の安心安全を第一に2日間に渡り、他3館から応援スタッフを派遣。 図書館 «共通» ① イベント実施（くずは5月祭・つだフェスタほか）時に加え、地震・台風・豪雨対応でもセンターと相互フォローして施設運営に努めてきた。 特に今年度は図書館側からの「野菜づくり」の本を活用し、水耕栽培を実践したことをセンターのHPにアップするなど「ひらまな読書アクション」への協力が大きい。 ② リーダー会議開催（4/27、7/20、10/26、2/14） 当会議を、合同開催行事・イベント実施に向けての協議の場、サービスの標準化の場と位置付けている。これにより、図書館サービスの安定的な運営に取り組んだ。 ③ サービス向上委員会、子ども読書推進プロジェクト会議等も定期的に開催し、情報共有した。（5/23、6/16、9/2、11/22、3/1）	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

	・共同事業体構成各社によるバックアップ体制	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» ① センター・図書館・施設管理 3 者の情報共有の場として施設会議を月例で開催。直近の設備点検報告や、日常業務の問題点などを協議。 ② 図書館とセンターが相互の媒体（パネル）を活用してイベントを告知したり、センターイベントの関連図書を図書館でテーマ展示（ミニ展示）する等相互連携を行っている。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
（イ）改善提案					
市民サービス向上の観点から、両施設の設置目的などを踏まえた物品販売や新たな備品の貸出しなど事務所サービスが提案されている（確認事項 9）					
	・物品販売サービス	3	生涯学習市民センター «共通» 窓口でラミネートフィルムの販売およびラミネート機の無料貸し出しを継続実施中。利用団体のポスター掲示の際などに活用いただいている。 楠葉 7件 津田 8件 <楠葉> 自主事業「ベジベジくずはキッチン」にて、枚方産野菜の販売を実施。好評につき下期より毎月開催。（10/7、11/4、12/2、1/13、2/3、3/3） <津田> つだ生（しょう）ミニ野菜市～新鮮野菜の販売会～（3/24） 穂谷ふれあい市グループ協力のもと 2 階ロビースペースにて枚方産野菜の販売会を開催。参加36名。	4	地域グループと連携した枚方産野菜の販売の企画を行い、楠葉では下半期から毎月開催するなど利用者のニーズに合わせてサービスを拡大していることを評価する。
	・大型テレビモニター、短焦点プロジェクター、iPad、動く絵本（デジタル絵本）等の貸出備品の追加	3	生涯学習市民センター <楠葉> ① 経年劣化のため、ラジカセ2台、譜面台8台を買替え。 ② 利用者からタブレット・スマホからのプロジェクター投影の要望が多かったため、HDMI変換器、ライトニング変換ケーブルを追加し、利便性向上を図った。 ③ 子育て世代の利用向上のため、利用者懇談会で要望のあったウレタンマットを20枚新規購入。 <津田> 利用者からのご意見を反映し、ラクチン正座イス（和室）、ホワイトボード（各集会室）、譜面台（音楽室）を増設するなど貸出希望の	4	特にセンターでの利用者懇談会や日常的に聞き取った利用者からの要望を丁寧にこみ取り利便性向上に努めていることを評価する。

		多い備品を定期的に追加。お客様目線での利便性向上に努めている。 図書館 《共通》 ①「本の消毒機」「iPad」（情報収集用/独自パスファインダー格納/4館共通/紙ベースでもファイリング）、「動く絵本」(児童提供用)、「ウェットティッシュの提供」（熱中症対策）などのサービスを継続実施した。 ② 複写サービス(カラー)の利用度(4年度) 楠葉:23件・38枚、津田:51件・103枚 〈楠葉〉令和4年度末 「iPad」利用実績/累計1,031回（4年度/354回） 「動く絵本」利用実績/累計2,865回（4年度/805回） 〈津田〉令和4年度末 「iPad」利用実績/累計162回（4年度/102回） 「動く絵本」利用実績/累計470回（4年度/315回）		
・イベント看板・大判ポスターの作成サービス、宅配便の発送・受取サービス等の事務サービス	3	生涯学習市民センター 《共通》 大型プリンターを、4館共有備品として御殿山生涯学習美術センターに導入済。活動委員会事業・利用団体イベントの駅貼りポスター掲出などで活用中。 〈楠葉〉 駅貼りポスター(6回)。第23回災害復興支援チャリティコンサート(1月)、人形劇フェスティバル(3月)にて大判ポスターを館内掲示、広報に寄与。 〈津田〉 「つだ生サークル体験ウィーク」(11月)、「津田いいとこ寄席」(11月)において大型プリンターでのポスター製作を行い掲出に活用した。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

・会議での茶菓手配、各種ケータリングサービス紹介、コーヒーの販売等の飲食サービス	3	生涯学習市民センター <楠葉> ①「ひらまなカフェ」(7/22) 障がい者就労支援施設の出張クッキー販売実施。 ②「チャレンジカフェ 1日子どもカフェ店長体験」(8/4、8/9、8/21) では、くずはキッチンにて小学生によるカフェ営業を実施。 ③「第23回災害復興支援チャリティコンサート」(1/22)において障がい者就労支援施設の協力でクッキー販売を実施。 <津田> 「つだ生～サークル体験仮入部」(7/23) において参加者への飲料サービスを実施。	3 本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・図録・サークル年鑑の作成サービス、写真撮影サービス等の記録サービス	3	生涯学習市民センター <共通> ホームページに団体紹介ページを作成し、活動内容を掲載。 <楠葉> ①「くずはミニコンサート」にて、希望出演団体には音源収録サービスを実施。 参加6団体中1団体に無料提供 ②「第23回災害復興支援チャリティコンサート」にて、出演団体に無償で写真記録サービスを実施。参加記念記録シートを提供。 <津田> ①サークル年鑑作成サービスを開始。 「藤阪子ども食堂隊」、人形劇サークル「ばんだるま」の2団体から申し込みをいただき年鑑を制作。今後もボランティアの活動振り返り記録などを作成予定。年鑑作成においてはスタッフのデザインスキルを活かすことで制作費用を抑え無料配布を可能にしている。サンプル設置や無料制作のPRも積極的に推進している。 ②公式YouTubeチャンネルで活動サークルを動画で紹介する「つだサークル探訪」シリーズとして現在3団体の紹介動画を公開中。 ③バンドライブのアーカイブ映像を配信する「おうちで楽しむつだミュージックライブ」継続中。	4 事業提案の取り組みに加えてSNSを活用した活動動画やサークル紹介の動画配信などサービス向上を図っていることを評価する。

生涯学習市民センターの魅力アップのための施設・備品等の改修・改善について、費用対効果の認められる具体的なアイデアが提案されている（確認事項10）

・気軽に立ち寄り、滞在しやすい環境づくり	3	生涯学習市民センター «共通» ① ロビーや共用スペースは、密を回避したレイアウトを継続。感染防止対策として館内各所にパーテーション、消毒液を設置。利用後の消毒作業も実施。 ② 「まちなか植物園」を継続設置。 ③ 季節毎の館内、窓口装飾を継続。 ④ ロビー等へのBGM放送を継続。 <楠葉> ① ロビーBGMを、著作権フリーのCD新規購入により変更。 ② ポケットギャラリー（立体展示キャビネット含む）の出展実績：5件 ③ ロビーを個人利用、複数人利用で滞在しやすいようゾーニングを行っている。 <津田> ① お客さまからお問い合わせの多いセンターへの行き案内や、部屋紹介をホームページ上で動画で公開中。 ② 季節のロビーイベントを開催し利用者同士の交流促進を行っている。 ③ 3階ロビーにレコード鑑賞コーナーを継続設置中。 ④ 3階ロビーに子育て情報を集約した「子育て情報館」を継続設置中。 ⑤ 3階ロビーに非接触式体温計（消毒ディスペンサー付）を継続設置中。（利用団体のイベント時にも貸し出しを行い感染対策に取り組んでいる） ⑥ 「まちなか植物園」「まちなか水族館」「まちなか昆虫館」を継続設置。 それぞれ育成担当者を配置し、生育環境の維持に努めている。昆虫館で展示しているカブトムシやクワガタは近隣で採取した個体を活動委員から提供いただき、市民が地域環境についての理解を深めていただけるように努めている。今後は清潔な育成環境を維持するため夏季限定展示にて継続を予定。植物園については今後植物セミナー参加者などからボランティアを募り市民参加型での育成を計画。（摂南大学植物園と連携予定）	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
-----------------------------	----------	---	----------	-------------------------------

・施設の魅力（ポテンシャル）の向上	3 生涯学習市民センター «共通» ① 2018年度から継続してロビースペースにWi-Fiスポットを設置。 ② 換気時の虫よけ、鳥よけのため館内各所に手作り網戸を継続設置中。 <楠葉> ① 上期開催が好評で稼働率向上に寄与した自主事業「グランドピアノ一般開放」を下期にも開催(2月)。事前申し込み制で大集会室のグランドピアノ14組が利用。下期個人利用で月平均9件利用実績有。 ② 昨年度導入した、可動式3連ミラー・音楽室専用小型アンプの活用頻度が上がり、音楽室・美術室・視聴覚室の稼働率向上。 <津田> ① 各集会室にホワイトボードを常設、音楽室に譜面台を常設。 ② 足のしびれ、腰痛防止として和室にラクチン正座イス5台を導入。着付けサークルにご活用いただくなど、高齢者も利用しやすい施設環境を整えている。 ③ ヨガマット、ダンス用移動式ミラー、ブルトウース対応ポータブルアンプ、プロジェクターなどを継続設置中。今後は高齢者からご要望の多いキャスター付きの会議机やダンス団体の新規利用獲得に向けて移動式ミラーの増設を計画中。	3 本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・情報拠点としての機能強化	3 生涯学習市民センター «共通» ① ホームページ、SNSを活用しイベントや活動サークル情報をはじめとした学びと交流の情報を積極的に発信している。 ② 女性消防分団と連携して防災意識啓発のためのロビー等で展示による情報発信を行っている。 ③ 子育て・ファミリーコーナーへ関連する配架物などを集約するための専用ラックを設置。子育て世帯への情報発信機能を強化。 <楠葉> ① 2階ロビーにサークル情報コーナーを設置。 サークル情報ファイルを3箇所継続設置。 ② Instagramにて地域のお店情報、枚方市の農家さん、取組を毎	3 本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		月紹介。 ③ ポケットギャラリーに加え立体展示キャビネットを継続設置。創作系サークルの成果物を展示（5団体）。 ④ 「ひらまな歴史散歩」をFacebookでシリーズ化（上期2回、通算6回）して配信。枚方歴史ガイドマップ掲載の史跡を紹介することで、ガイドマップの認知度アップ、販売にも寄与。 〈津田〉 ① 広報誌「つだより」に地域情報コーナーを開設。身近な地域情報が読者からご好評いただいている。 ② 公式Twitterでロビー自習スペースの空き情報などを定期的に発信中。 ③ 枚方市の取り組みである「ひらかたプラごみダイエット行動宣言」の特設コーナーを3階ロビーに継続設置中。センター利用者への参加を呼び掛けている。		
図書館の魅力アップのための施設・備品等の回収・改善について、費用対効果の認められる具体的なアイデアが提案されている（確認事項11）				
・利用者にとって快適な環境づくり	4	図書館 〈楠葉〉 ① 自動検温器…図書館入口付近に設置した。（手指消毒機と隣接） 同ハンディタイプは、おはなし会等イベント開催時に活用した。 CO2濃度測定器…カウンターに1台常設。 ② 書架及び案内サインを随時更新。他館で先行導入しているピクトグラムを活用し、よりわかりやすく改善した。 ③ 当館スタッフ「図書館がざり隊」による季節感を出した装飾を通年実施した。 児童書のミニ特集との連動も実施した。 〈津田〉 ① 検温器をおはなしの部屋で行うイベント時に活用した。 ② CO2濃度測定器を開架室・おはなしの部屋（自習ルーム）の常	4	コロナウイルス感染症対応備品に加えて書架及び案内サインを4館共通のものに更新し、利用者の利便性向上を図ったことを評価する。

		時設置。 ③ 10月からのマンガ本の所蔵に合わせて雑誌エリアのレイアウト変更。見通しをよくしさらに誰でも気軽に座りやすい配置へと変更した。また、椅子の張替え、および氷室分室から不要となったソファを譲り受け破れていたものと取り換えを行った。 ④ 書架表示をピクトグラムを用いたものに変更し、各分類の図書の所在をわかりやすく変更した。 ⑤ 児童書コーナーの季節ごとの装飾、および入口の月替わりの看板にて季節感を演出。特集やイベントとの連動も実施した。		
・清潔な環境の維持	3	図書館 「共通」 ① 清潔な環境維持のため「図書消毒機」「空気清浄機」「サーキュレーター」等を運用（図書消毒器の令和4年度利用。実績：楠葉17,839回、津田8,021回） ② 特におはなしの部屋では清潔な環境維持のため「空気清浄機」、新型コロナの対策として「サーキュレーター」を併用し常時稼働した。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・無音スペースとBGMエリアの区分け等音楽の活用	3	図書館 〈楠葉〉 無音スペースとBGM放送エリアの区分けについては、「おはなし会」の開催時にBGMを流し入室時の気分を和らげることに努めた。 ※楠葉図書館ではBGMは実施しておりますが、利用者からの苦情により常時のBGMは中止した。 〈津田〉 無音スペースとBGM放送エリアの区分けについては、入口ロビー（図書館外）で適度な音量でBGMを流すことにより、図書館内に無音スペースとBGMが聴こえるスペースの区分けを実施した。またイベント開催時には会場にて音楽を流し、参加者のイベントへの期待感を高めた。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

(ウ) 事業提案				
生涯学習市民センターの設置趣旨等を踏まえ、生涯学習のきっかけづくりやセンターの認知度の向上・活性化につながるような自主事業が具体的に提案されている（確認事項12）				
・「くずはキッチン」を活用した事業、子育て世代・シニア世代向け等のライフステージに応じた事業、防災教室等の生涯学習事業（提案事業）	4	生涯学習市民センター 〈楠葉〉 ① 「くずはキッチン」にて、障がい者就労支援施設によるクッキー出張販売（7/22）。来場約15名、販売予定50袋完売。 ② 「チャレンジカフェ 1日こども店長さん体験」（8/4、8/9、8/21）→仕入れ、POPづくり、接客、販売、片付け等一連のカフェ営業体験ができる機会を子どもに提供する企画を『くずはキッチン』にて開催。10組を超える応募があったが、先着3組で計3日開催。のべ180食を販売。 ③ 「くずはキッチン」にて枚方産農産物の販売を行う「ベジベジくずはキッチン」を毎月開催。（9/9来場者13組、10/7来場者24組。11/4来場者21組。12/2来場者47組。1/13来場者51組。2/3来場者52組。3/3来場者47組。） ④ 子育て世代に向けて「くずは子育てひろば とらいあんぐる」を毎月1回実施。2か月前抽選で申込みのなかった空き諸室を活用。子育て支援団体（体操、工作）、図書館（絵本よみかせ）、保健センター（乳幼児健康相談）等と連携しながら、毎月テーマを替えて実施。徐々に定着し、毎回6～8組が参加。10/17来場者5組。11/29来場者5組。12/16来場者6組。1/30来場者6組。2/7来場者9組。3/13来場者7組。（各回定員8組） ⑤ 大阪歯科大学と連携したシニア向け健康セミナー「口腔ケアを見直してみませんか」（9/30）を開催。参加者19名（定員24名） ⑥ ビジネスパーソン向け夜のセミナー「今からはじめる老後資金対策」（9/9）開催。日本FP協会との連携、参加者10名（定員20名、申込16名、当日悪天候のため6名キャンセル） ひらまなカレッジVol.27 金融セミナーを「金融商品の基礎」「ライフプラン・株式投信」「NISAとiDeCo」（11/11、25、12/9）の3回講座で実施。参加者21名、22名、23名（定員各回20名）。事業内で講座に関連した図書館貸出本を紹介。1名が貸出カードを新規作成。 ⑦ 図書館連携事業「おはなしワールド」を開催。ブックトークを中心にしたワークショップを実施。参加者22名（定員30名）（5/7）、参加者22名（定員30名）（12/25） ⑧ オンライン事業としてInstagramを活用した「第3回くずは料理部 インスタライブ」（6/5）を開催。プロの料理講師による酵母に関するセミナーをライブ配信、後日その酵母を使ったフォカッチャ製作実演を動画配信。 リアルタイム視聴者27名、アーカイブ配信200回以上再生 ⑨ 夜の利用促進を目的としたとして新規層の取り込み「夜活！コンビニスイーツと日本茶のペアリング体験」（10/14）参加者10名（定員10名） ⑩ 「お出汁生活はじめよう やさしいおだしの教室の離乳食講座」（10/22）参加者11名（定員12名）	4	各世代をターゲットとした事業を数多く実施し、かつ、参加者から高い満足度を得ていることを評価します。また、市内大学や各種団体、施設等の地域が持っているリソースを有効に活用していることを評価します。

		⑪「ようこそ！0歳からのコンサート ～「おと」と「おはなし」の花束～（2部制）」（10/30）参加者124名（定員120名） ⑫「グランドピアノ開放します」（2/16）参加者14組※応募27組（定員14組）個人利用での稼働率増に引き続き寄与。事業内で講座に関連した図書館貸出本と楽譜を紹介。1組に参加後貸出。 ⑬「らくごる体操」（3/2）参加者24名（定員30名）※講師体調不良により12月から延期して実施。講座後、楠葉活動委員会に講師紹介。2023年度活動委員会事業として実施予定。 ＜津田＞ ①「絵本で子育て～おはなし会とミニコンサート」（4/16）参加者11名（定員13名） ② つだ生（しょう）サークル体験仮入部（7/23）参加10団体（定員無し ※参加想定10団体程度）体験延べ36名（定員無し ※体験想定延べ50名程度） ③ 子どもアートセミナー「世界でひとつだけ！段ボール帽子をつくろう」（8/11）参加者9名（定員10名） ④ 大阪工業大学（情報科学部）と連携し、小学生向け「親子で体験！VR防災トレーニング」（8/27）を開催。参加者14名（定員15名） ⑤ 星空ボランティア育成「星空教室」（9/17、10/8、11/12、12/10）を夜間の連続講座として開催。参加者10名（定員10名） ⑥ コロナ感染防止のため開催できなかった季節の料理教室のかわりに公式YouTubeチャンネルにてオリジナル調理レシピ動画を公開。動画では夏に育成したゴーヤのグリーンカーテンから収穫した食材を使用。視聴数280名 ⑦つだ生（しょう）サークル体験WEEK（11/7～11/13）参加者27団体（定員無し ※参加想定20団体程度）体験延べ28名（定員無し ※体験想定延べ50名程度） ⑧ 大人の秘密基地シリーズVol.1～昭和のプロレスを語ろう～（12/9）参加者9名（定員10名） ⑨ 冬休み宿題大作戦「星空観望」（12/23）参加者21名（定員20名） ⑩ つだ生（しょう）ミニ野菜市～新鮮野菜の販売会～（3/24）参加者36名（定員無し ※参加想定30名程度） ⑪ えほんのひろばinつだ（3/25）参加者23名（定員25名）		
--	--	--	--	--

・「地域コンサートシリーズ」、「マナビスト講座」等の生涯学習事業（継続事業）	3 生涯学習市民センター <楠葉> ① 地域コンサートシリーズ「くずはミニコンサート」を毎月開催。利用団体から出演者を募集、毎回50名前後を集客（10/2出演:オカリナフン・ツースリー、来場者52名。11/6出演:合唱団パレット、来場者72名。11/26出演:ぶれすと・クッキーハウス、来場者50名。12/10出演:ラルゴ70、来場者50名。） ② マナビスト講座「親子で科学を楽しむ会」（9/17）を開催。講師依頼をした利用団体のPRにもつながり、メンバー増で下期から活動日が月1回→2回に拡大し、サークル活動支援と共に稼働率向上につながった。参加者15組（定員15組） ③ もっと知りたい枚方市の取り組み「身近なコトから始める防災教室」（7/31）開催。女性消防分団と連携し、消防団の活動内容や市の防災への取り組みをシニア層からファミリー層まで幅広く紹介。参加者18名（定員40名） ④シニア向けに「ひらかたポイント活用術」（6/24）開催。健康福祉総務課との連携、参加者19名（定員20名） <津田> ① マナビスト講座のコンセプトを継承した事業として「目からウロコ！の植物分類学～世界の植物あれやこれや」を開催（10/20）参加者15名（定員15名） ② 地域コンサートシリーズ「つだウインターコンサート」を開催（12/17）参加者79名（定員80名） ③ もっと知りたい枚方市の取組み「ひらかたポイント活用術」（2/13）参加者20名（定員20名）	3 本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・活動委員会事業（協働事業）	4 生涯学習市民センター «共通» 毎月定例の委員会に業務リーダーとサブリーダーが事務局担当として参画。年間計画や予算執行、メンバー募集、保険加入手続きなどの運営サポートを行った。また、実施事業ごとにセンターから担当者を配置。企画広報やコロナ対策などの事業実施に関するサポートを行った。今後も地元企業との連携企画（スマホ講座、ヤクルトと連携したチャレンジ講座）など事務局サイドからも提案を行いながら、より満足度の高い事業を実施していく。 <楠葉> ①「第9回くずは七夕寄席」（7/2）参加者71名（定員70名）	4 コロナ禍から徐々に活動を活発化させていった時期にあたって、様々な面でサポートを行い、数々の事業を高い参加率で実施されたことを評価します。

	②「親子科学教室」(8/20) 参加者36名(定員10組) 「センター創立40周年事業」 ③ 辛坊治郎氏 講演会 (5/13) 参加者65名(定員70名当日キャンセル5名) ④「風船の魔法使い 療育バルーン パフォーマーはぐみ」(5/14) くずは5月祭内で実施 観覧者約40名 ⑤「人情芝居・歌謡ショー ちんどん通信社東西屋」(6/11) 参加者50名(定員60名) ⑥「ピアノカの魔術師」(11/23) 参加者61名(定員60名) ⑦「フルート&ピアノコンサート」(12/11) 参加者52名(定員70名) 〈津田〉 ①「里山散策No201」(5/26) (定員25名) ※雨天中止 ②「第37回つだ寺子屋ムジカシリーズ」(5/29) 参加者32名(定員40名) ③「第39回レコードコンサート」(7/9) 参加者31名(定員40名) ④「チャレンジ講座 腸と健康の楽しい講話」(7/29) 参加者38名(定員50名) ⑤「第38回つだ寺子屋ムジカシリーズ」(9/19) (定員40名) ※台風14号により中止 ⑥「第40回レコードコンサート」(10/15) 参加者32名(定員40名) ⑦「チャレンジ講座 はじめてのスマホ体験教室」(11/10) 参加者17名(定員20名) ⑧「里山散策No202」(11/24) 参加者21名(定員25名) ⑨「第16回津田いいとこ寄席」(11/26) 参加者78名(定員80名) ⑩「クリスマススペシャルコンサート2022」(12/11) 参加者47名(定員60名) ⑪「第20回 加賀丈子 新春津軽三味線演奏会」(1/14) 参加者101名(定員100名) ⑫「里山散策No203」(1/26) (定員25名) ※積雪により中止 ⑬「つだミュージックライブ11th」(2/18) 参加者65名(定員無し ※参加想定60名程度) ⑭「第39回つだ寺子屋ムジカシリーズ」(2/19) 参加者39名(定員40名) ⑮「チャレンジ講座 わくわく木工教室」(2/25) 参加者17名(定員20名) ⑯「第24回 つだ南光亭」(3/11) 参加者110名(定員110名) ⑰「第41回レコードコンサート」(3/18) 参加者24名(定員40名) ⑱「里山散策No204」(3/23) (定員25名) ※雨天中止	
--	---	--

	・実行委員会形式事業	3	生涯学習市民センター <楠葉> ①3年ぶりに「くずは5月祭」復活（5/14・15）。前回2019年を上回る30団体が参加（前回25団体）。利用団体に広く参加を募り初参加6団体。 ②「第23回災害復興支援チャリティコンサート」（1/22参加団体6団体、来場者289名）新たな取り組みとして、1. 大判ポスターでのセンター内告知、2. クッキー販売（協力:障がい者就労支援施設） 3. 参加記念記録シート配布（参加団体）。 ③2023年度開催予定の第40回5月祭実行委員会（1月～）30団体参加 <津田> 2023年6月に「つだフェスタ2023」を開催予定。当初3月開催予定であったが、より多くの参加団体を募るため6月に延期。 センターのコーナーとして「ミニ野菜市」「ミニ四駆サーキット」などを開催予定。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
図書館子ども読書活動推進計画の趣旨に沿った子ども向けの事業、及び一般成人を対象とした図書館読書推進事業が具体的に提案されている（確認事項13）					
	・独自ブックリスト、調べる学習支援。オリジナルブックトーク、親子・保護者向けセミナー等の子ども向け読書推進事業	4	図書館 «共通» ①リブネット/子ども読書推進プロジェクト会議随時開催。（6/16） ②HP「おうちで楽しくスティホーム」（動画/ブックトーク）継続配信した。 ③「子どもの本の福袋」を1月に開催。 ④ボランティアの協力も得て定期的に「おはなし会」で読み聞かせを実施した。 夏休みおはなし会7月＝13名、8月＝12名（定員無し※参加想定15名程度） ⑤「調べる学習支援」については、ブックリストなどを活用し、依頼があつ	4	子どもの読書意欲を向上させる多様な取り組みを実施していることを評価する。

た学校には随時児童サービス担当が適切に選書し対応した。

⑥「学校訪問（出張おはなし会）」「図書館見学」希望にも積極的に対応した。

図書館見学…楠葉3校、学校訪問おはなし会…楠葉2校
 図書館見学…津田1校、学校訪問おはなし会…津田3校
 図書館インタビュー…津田1校

⑦「中学生職場体験」については、今年度もインタビュー形式で実施に協力（楠葉2校6名）。

⑧独自ブックリスト「子どもの本ブックリスト」「教科書単元対応ブックリスト」作成した。

⑨4館合同企画「科学道100冊2022」開催（津田/12月、楠葉/3月）

＜楠葉＞

① センターとの連携事業として「おはなしワールド」を企画。年間2回開催。子ども向けの本を映像なども活用して楽しく紹介し、地域の読書推進を後押しした。（第一回5/7 22名参加 第二回12/25 11名参加）

② スタッフおすすめ本コーナー、新鋭絵本作家紹介コーナー常設

③ 週1回の定例おはなし会の実施

④ 「2022ひらかた絵本まつり」展開

スペシャルおはなし会 参加者22名（定員無し ※参加想定25名程度）

⑤ 4館共通「春のスタンプラリー」（4/23～、延べ500名参加）

⑥ 「子ども一日図書館員」（5/22）参加者5名（定員5名）

⑦ 4館共通「夏のスタンプラリー」（7/24～、600名参加）

⑧ 「夏休み宿題大作戦」（7/21～8/31）

⑨ 「夏のこわいはなし」（8/6）参加者15名（定員無し ※参加想定20名程度）

⑩ 「夏の工作あそび」（8/13）参加者9名（定員10名）

⑪ 「秋のスタンプラリー」（10/27～11/9、延べ400名参加）

⑫ 「中学・高校生ビブリオバトル」（10/30）参加者7名（定員10名）

⑬ 「本の福袋（子ども用）」（1/4～）参加者延べ57名

⑭ 「冬のスタンプラリー」（1/28～、延べ400名参加）

⑮ 「おすすめの図書紹介（児童書）」（12月）…独自ブックリスト

⑯ 「COMPLEET BOOK（6種）」（増補）…独自ブックリスト

＜津田＞

① 週1回の定例おはなし会の実施（通年）参加者387名

② 「児童スタンプラリー」（通年）参加者延べ11454名

③ 「ポケふたコレクションカード」（通年）参加者延べ8613名

④ 「こんな本読んで」（通年）参加者延べ741名

⑤ 津田独自児童向けブックリスト発行（年4回）

YA向けおススメ本ブックリスト発行（年2回）

⑥ 「アニマルエッグハント」（3/25～4/17）

延べ参加者551名（オープン参加）

		⑦「4館共通 ひらかた絵本まつり・図書館ビンゴ」(4/23～5/12) 延べ参加者300名 (先着300名) ⑧「多言語おはなし会」(4/30) 参加者10名 (定員無し ※参加想定10名程度) ⑨「レジンでクローバーをつくろう」(5/4) 参加者6名 (定員6名) ⑩「七夕飾りつけ」(6/28～7/7) 延べ参加者83名 (オープン参加) ⑪「妖怪クイズラリー」(7/16～8/31) ※センター協働 延べ参加者1485名 (オープン参加) ⑫「4館共通 2022なつの図書館スタンプラリー」(7/21～9/14) 延べ参加者400名 (先着400名) ⑬「夏休み宿題大作戦」(7/21～8/31) 延べ参加者86名 (オープン参加) ⑭「親子で楽しく学ぶおこづかい講座」(7/27) 参加者11名 (定員10名) ⑮「こわいおはなし会」(7/30) 参加者21名 (定員無し ※参加想定25名程度) ⑯「ペットボトルでスノードームをつくろう」(8/13) 参加者21名 (当日キャンセル3名) (定員24名) ⑰「ハロウィンゲームパーティ！」(10/1～10/31) ※センター協働 延べ参加者615名 (オープン参加) ⑱「TSUDA-1グランプリ」(10/27～11/9) 延べ参加者107名 (オープン参加) ⑲「4館共通 秋のスタンプラリー」(10/27～11/9) 延べ参加者300名 (先着300名) ⑳「子ども図書館司書体験」(11/5) 参加者2名 (定員5名) ㉑「マジックワードクリスマス」(12/1～12/25) ※センター協働 延べ参加者492名 (オープン参加) ㉒「クリスマスツリーを飾ろう」(12/1～12/25) 延べ参加者210名 (オープン参加) ㉓「4館共通 冬のスタンプラリー」(1/4～2/28) 延べ参加者300名 (先着300名) ㉔「本の福袋(子ども用)」(1/4～1/7) 延べ参加者56名 ㉕「ぬいぐるみおとまり会」(2/11) 参加者15名 (定員15名) ㉖「アニマルエッグハント！！」(3/24～4/9) ※センター協働 延べ参加者582名 (オープン参加) ㉗「レジンでうさぎをつくろう！」(3/29) 参加者6名 (定員6名)		
--	--	--	--	--

・よるとしよ、本の福袋、わたしの一押し本、枚方アカデミー等の成人向けのワークショップ・イベント	3 図書館 〈楠葉〉 ①よるとしよの開催 ・「よるとしよ 子育て応援講座」。(9/10) 参加者6名 ②本の福袋 ・「本の福袋（大人用）」(10/27-11/9) 参加者延べ190名 ③わたしの一押し本 ・「楠葉スタッフおすすめ本（リーフレット）」(年間2回発行) ④枚方アカデミー ・「もし、がんになったら」(国立がん研究センター共催) (4/4) ・「健康・医療情報講演会」(6/1) (30名参加) ・開館40周年記念/歴史文化講演会 (11/27) (29名参加、定員30名) ⑤その他成人向けイベント ・「今日は何の日？」(4/1～継続) ・「世界アルツハイマー月間」特別展 (9/1) ・「電子図書館説明会」(9/4) (6名参加、定員6名) ・「本と雑誌のリサイクル市」(11/19～11/20) (231名参加) 〈津田〉 ①よるとしよの開催 ・レジンでキーホルダーをつくろう (9/9) ②本の福袋 ・「大人の本の福袋」(10/27～11/9) 参加者延べ77名 ③わたしの一押し本 ・スタッフおすすめ本を常時設置 ・「わたしの一押し本」(12/16～12/28) ・津田独自一般書おすすめ本ブックリスト発行 (2ヵ月に1回) ④枚方アカデミー ・市民が講師の「かみしばい読み聞かせ講座」(6/11) (参加者7名 定員15名) ・「金融トラブルの巻き込まれないために」講座 (12/7) (参加者5名 定員10名) ・「体験を語る会『第五次満蒙開拓青少年義勇軍』」8 (3/26) (参加者10名 定員10名) ⑤その他成人向けイベント ・2つの大きな特集に加えて10を超すミニ特集を設置した。(常設) ・「大人のビーズ教室」(2/18) (参加者6名 定員6名) ※2館のイベント時には、利用者アンケートを実施しており、アンケート結果を基に令和5年度からの指定管理業務においては、イベント内容をアップデートして参ります。	3 本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
--	---	--

生涯学習市民センターと図書館との施設連携事業の実施について、具体的に提案されている（確認事項14）				
・「夏休み！宿題大作戦」、「ビブリオバトル」、「ブックトーク」、「季節の飾りつけ」等の生涯学習市民センター・図書館連携事業	4	生涯学習市民センター/図書館 «共通» ①ホームページ上に開設中の生涯学習情報サイト「まなび百科」内での『読書アクション』にて図書貸出数増加のためのPRを実施した。 読書アクション250.58PV/月 昨年比62.14%（4館計） ②「夏休み！宿題大作戦」を7、8月に実施（定員なし） ③季節ごとに行う児童向けスタンプラリーイベントでは必ずセンターにも立ち寄るミッションを設けて実施した。 ＜楠葉＞ ①「くずは子育てひろば とらいあんぐる」にて図書館スタッフによる絵本よみかせ実施した。（7/11）参加6組 ②連携企画「おはなしワールド」を年2回（5月（参加者22名）・12月（参加者11名）開催。小学生低学年向けのおすすめ本をストーリーテリングやブックトークを通して紹介。更にスクリーンへ画像などを映す事で、視覚的にも理解して、より読書に興味を持てるよう、イベント実施のための連携会議を立ち上げ、打合せを重ねながら企画した。 ＜津田＞ ①妖怪クイズラリー（7月、8月）にて、図書館とセンターが連携し、センターロビーを活用したクイズゲームを実施延べ1485名参加。（定員なし）。 参加者にはノベルティグッズを進呈。 ②季節の飾りつけを協働実施した。 ③絵本で子育て（4/16） 「絵本で子育てセンター絵本講師」、「日本子育てアドバイザー協会認定子育てアドバイザー」の金澤栄子さんを招いて乳幼児向けの子育てイベントを開催（読み聞かせ、フランスシター演奏、子育てサロン）。 （参加11名 定員13名） ④「ハロウィンゲームパーティ」（10月）センターと連携し、図書館とセンターロビーを利用してゲームを実施延べ615名参加。 ⑤「マジックワードクリスマス」（12月）センターと連携し、図書館とセンターロビーを利用してゲームを実施延べ492名参加。 ⑥「アニマルエッグハント！！」（3月・4月）センターと連携し、図書館とセンターロビーを利用してゲームを実施延べ211名参加。 ⑦えほんのひろばinつだ（3/25）参加者23名（定員25名）	4	各種連携事業では、イベントに参加した市民がセンター・図書館を相互に訪れることができるよう意識した企画内容となっていることを評価する。

	おススメ本コーナーの設置、ブックリサイクルや本の福袋等の図書館事業との連動など、図書館利用促進のための取り組み	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» ① 図書館の貸出本を活用した「ひらまな読書アクション」をセンターだより、生涯学習情報サイト「まなび百科」に掲載し、4館共通の取り組みとして読書と生涯学習のきっかけづくりに取り組んだ。 ② 「新着本案内」「イベント情報」など図書館案内のパネルをセンターに設置（常設）し両施設の利用促進・相乗効果を図った。 ③ 各センターだよりに毎号図書館ページを設け、図書館のイベント案内やおススメ本を発信。 <楠葉> 「ひらまなカレッジVol.27 金融セミナー 金融商品の基礎 ライフプラン・株式投信・NISAとiDeCo」にてお仕事帰りの人を対象にPRの時間を設けてデジタル図書を紹介。 上記事業と「グランドピアノ開放します！」にて講座内容に関連した図書館の貸出本を紹介。貸出数増に寄与した。 <津田> ① 3種のおススメ本ブックリストをセンターに常設 ② センターの防災グッズコーナーに図書館が作成した防災に関するパスファインダーを設置 ③ 10月に本の福袋をセンターロビーでも展開	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
楠葉施設 2 階ロビーの「厨房設備を備えたオープンスペース」を活用した事業が具体的に提案されている（確認事項15）					
	・部分的に改装した「くずはキッチン」において、様々な事業を実施する（家具作りのワークショップ、「くずはチャレンジカフェ」「これぞ私の枚方めし！」等）	3	生涯学習市民センター <楠葉> ① 「くずはキッチン」にて、5月祭からの関係性で障がい者就労支援施設によるクッキー出張販売（7/22）。来場約15名、販売予定50袋完売。 ② 「チャレンジカフェ 1日こども店長体験」（8/4、8/9、8/21）→仕入れ、POPづくり、接客、販売、片付け等一連のカフェ営業体験ができる機会を子どもに提供する企画を「くずはキッチン」にて開催。10組を超える応募があったが、先着3組で計3日開催。のべ180食を販売。 「くずはキッチン」にて枚方産農産物の販売を行う「ベジベジくずはキッチン」（9/9）を開催。来場13名20個数の枚方産野菜を先着で販	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		売。好評につき下期から定期的開催（10/7来場者24組。11/4来場者21組。12/2来場者47組。1/13来場者51組。2/3来場者52組。3/3来場者47組。） ※「これぞ私の枚方めし！」については 21年度に枚方市内農家さまとタイアップし、地元産お米を活用したレシピを公募。センターの料理室を利用されている5団体の方の協力含む17名から提供されたレシピを冊子にして配布。 InstagramでもPRを実施し、好評。		
「滞在型図書館」「課題解決型図書館」のコンセプトを具体化するアイデアが提案されている（確認事項16）				
・落ち着いた、静かな空間を提供する「静」のニーズと、集いの場としての「動」のニーズに双方に応える滞在型図書館の実現	3	《共通》 参考図書コーナー/参考図書を利用し調査・研究 雑誌・新聞コーナー/興味あるジャンルの紙誌を自由に閲覧 参考図書コーナー、雑誌・新聞コーナー、児童コーナー、成人コーナーなど コーナーを区分けすることにより利用者に快適な空間を提供した。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・図書館員によるレファレンスサービスと、利用者自らが図書館の情報を活用し解決するセルフレファレンスを発展させる課題解決型図書館の実現	3	図書館 《共通》 ① 利用者に対してiPad（タブレット端末）を利用した情報収集環境を提供。iPad（タブレット端末）上に「リブネット独自パスファインダー」を組み込み作成の都度更新（4回/年）。 （楠葉…「健康・医療」「認知症」「SDGs」「育児」） （津田…「河内そうめん」「津田城遺跡」「王仁博士」「防災」） ② カウンターは貸出、返却、相談の3つの窓口とし、常時3名配置する事で声がかかりやすいように取り組んだ。またカウンター勤務者のうち1人はレファレンス担当であることをPRするための腕章をつけた。 ③ スタッフ各自の名札に担当書架（ジャンル）を表示した。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		〈楠葉〉 「健康・医療情報コーナー」の運用・充実に努めた。関連図書・持ち帰りパンフレット類の追加。併せて「子育て支援」への取り組みも行った。 【関連事業実績】 「もし、がんになったら？」展（パネル展） 「健康・医療情報（認知症）講演会」参加者29名（定員30名） 「子育て応援講座（講演会）」参加者22名（定員25名） 〈津田〉 新聞一面記事に関連した図書を集めたミニ特集を新設し、随時更新しているバスファインダーが紙媒体でも見れるよう、コーナーを新設した。		
--	--	---	--	--

(工) 利用者対応提案				
利用者に対する接遇対応向上について、具体的に提案されている（確認事項17）				
・利用者の目線に立ったホスピタリティある接遇	4	生涯学習市民センター/図書館 《共通》 利用者ニーズ把握のための「ご意見箱」を継続設置。いただいたご意見をもとにして、対応や対策を速やかに実施している。 ※頂いたご意見とともに回答は窓口掲示 およびホームページにて公表している。 楠葉では太鼓演奏団体のご意見を文化生涯学習課に相談。利用の可否を確認し、新規利用団体につながった。 生涯学習市民センター 《共通》 企業理念意見交換会やユニバーサルマナー研修を実施し、利用者目線での接遇について理解を深めた。 ＜楠葉＞ ①「ベジベジくずはキッチン」にて古紙をセンタースタッフが紙袋として再生し、野菜市の購入者に無料配布。 ② 自習スペース利用者から消しゴムの消しカスを入れるゴミ箱が欲しいとのご意見があり、古紙を利用したゴミ入れをセンタースタッフが作成。必要な物を必要な方に差し伸べて利用者に喜ばれている。 図書館 《共通》 ①日誌・連絡ノートに記入。加えてカウンター交替時に引継ぎ情報共有。 ②リブネット4 館独自に「電子図書館のやさしい使い方」のマニュアルを作成し説明会（楠葉1回・津田1回開催）や資料の配布を行っている。 ＜津田＞ 利用者からの質問等や対応について、日誌、朝礼等で共有。さらに月1回の館内ミーティングで再確認を行い利用者目線に立った接遇を心掛けている。	4	利用者の声を聞き、迅速に対応しようとしている姿勢を評価します。また、研修を適宜行い、職員の意識の向上に努めていることも評価します。

	・よくある質問への迅速な対応	3	生涯学習市民センター <楠葉> 過去の窓口対応の事例で、回答が難しいが頻度の多い質問をまとめてテスト形式にしたものを、スタッフ合同研修にて実施。(9月) <津田> お客様から問い合わせの多い質問について見えるかたちで公開中 (部屋紹介、センターへの行き方案内動画)	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
	・接遇研修の実施	3	生涯学習市民センター «共通» 企業理念意見交換会を実施。お客さま起点、誠心誠意など接遇の基本となる考え方について好事例を題材に意見交換。接遇に対する理解を深めた。 <楠葉> 過去の公務員の不祥事事例をもとに、自身たちがセンター職員としてどうあるべきかをディスカッションする「みなし公務員研修」を実施。(9月) 日本図書館協会主催「図書館基礎講座2022in関西」にて「読書バリアフリー法と図書館」を所長以下2名が受講。受講後センター内で情報共有。バリアフリーの必要性を学んだ。(2月) <津田> ① ユニバーサルマナー研修において高齢者や障がい者、車いす利用者などに対してどのような接遇が必要かについて学んだ。 ② テレホンマナー研修、手話接遇、クレーム対応研修を実施。利用者目線での接客品質の向上に努めている。 図書館 «共通» ① 自社の接遇教材を使用して実施した。(9月) 全スタッフが会社の接遇研修を受けている。利用者目線に立った接遇を実施した。 ② テレホンマナーについても自社の接遇教材を使用して実施した。常に丁寧な電話応対に気を配った(マニュアルあり)。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

・督促・弁償（備品、資料）などのデリケートな対応	3	生涯学習市民センター «共通» 使用料が発生するキャンセルの際は、速やかに文化生涯学習課に連絡。利用者に対して、原則次回利用日を確認の上、その際にお支払いいただければ良いという対応で統一。トラブルなく未払い金の回収を行っている。 図書館 «共通» 図書資料の督促・弁償に関しては市のマニュアルに従いながら、適切に処理した。その際、高圧的な態度とならないようできるかぎり利用者の状況に応じた対応を心掛けた。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・サービスレベルの均質化	3	生涯学習市民センター «共通» 4館業務リーダー会議（毎月開催）を継続実施。またニーズの高まっているオンライン事業に関して他施設との共有会議に参加し、ホームページのサークル紹介コーナーなど各館の成功事例を4館の運営に取り込んでいる。 図書館 «共通» ① 4館分館長会議を月に1回開催。情報の共有を図ると共に、スタッフの接遇対応やレファレンス等の細かな事案を各館で共有しサービスの向上に努めた。 ② リーダー会議開催（4/27、7/20、10/26、2/14） 協議の場・サービスの標準化・均質化の場と位置付け、図書館4館で実施する年4回のイベント起案をリーダーが中心となり行い、イベント内容をブラッシュアップさせる事で利用者の満足度の向上に努めた。 ③ 4館共通マニュアルとして＜大阪府立図書館協力貸出マニュアル＞＜リブネットHP更新マニュアル＞を作成し、スタッフのレベル向上を図った。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

・社内表彰制度の整備	4	生涯学習市民センター «共通» 活動委員会を始めとした活動意識の高い市民の方々との良好な関係性を築き、利用者に寄り添った運営を行ってきたことが2期目の継続受託につながったと評価。社長表彰を受賞。 図書館 «共通» 優良サービスを提供し評価された図書館を対象に表彰を行った。 〈楠葉〉 リブネット年間MVP団体賞表彰を受ける。 ※貸出・予約の図書館サービスの基本を着実にを行い、また「ブックコンシェルジュ」としての読書案内・レファレンスさらには当館特色の課題解決型図書館としての取り組みを進展させたことが評価された。 〈津田〉 2021年度に様々な独自児童イベントを行ったことにより、児童利用者数・自動貸出冊数・児童新規登録数が前年度比約2倍となったことが評価され、サービス部門貢献賞を受賞した。（5月）	4	社内研修制度を適宜利用し、職員のやりがい、やる気を生み出す努力をされていることを評価します。
・生涯学習市民センターと図書館のワンストップ対応	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» JV 3 社の施設会議において施設間の情報共有を行い、お客さまからの問い合わせ（施設情報）や不審者の対応など相互協力して取り組んだ。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・清掃・整理による安全性・快適性の向上	3	生涯学習市民センター «共通» 安全衛生管理の取り組みとして会社全体で取り組んでいるKY（危険予測）訓練の毎月実施に加え、枚方施設独自の4館KY活動を	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		実施することによりお互いの施設の啓発ポイントを洗い出し、清掃、整理整頓に努めている。またイベント等で来館者が増える際は、清掃頻度を増やし快適性を維持。		
利用者が安全に利用できるよう施設内で発生するトラブルへの対応方法等について提案されている（確認事項18）				
・巡回による設備故障や事故及び事件等の未然防止	3	生涯学習市民センター/図書館 《共通》 ① KBTのファシリティーダーが月次巡回を実施。設備面の不具合が無い等専門的観点から安全点検を行い、事故等の未然防止を徹底。 ② 職員による定期・不定期の巡回を毎日実施し、設備故障や事件等の早期発見、未然に防止する体制を継続中。 ③ 駐車場の開閉錠作業について連携して行い大きなトラブル発生なし。 〈楠葉〉 「くずは5月祭」にて実行委員会メンバーと一緒に駐輪場の整頓を実施。事故の未然防止に努めた。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・苦情を未然に防止するための取組み	3	生涯学習市民センター/図書館 《共通》 ① 枚方市の苦情対応フロー・苦情対応マニュアルに加え、JV共通の苦情対応マニュアルに沿った対応を全スタッフに徹底している。 ② 路上駐車対策として巡回時の確認、及び館内放送での注意喚起などの体制を整えている。 〈楠葉〉 「くずは5月祭」にて駐車場満車時に、図書館利用だけの方には臨時に都度対応して、利用者さまをお待たせしないようスタッフを配置。苦情を未然に防いだ。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・苦情に対する誠実な対応	3	生涯学習市民センター 《共通》 苦情対応の基本研修を実施。適切な一次対応ができるよう継続して教育実施中。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		図書館 «共通» ① 適切な利用者サービスに取り組み説明責任を果たすように努めた。 ② 苦情・クレームについては、大小にかかわらず連絡ノート・日誌に書き留め翌日「朝礼」で全スタッフに情報共有。また閉館後、「日報」にて会社に報告した（重要事項は中央図書館へ報告）。 〈楠葉〉 隣家の駐禁対応は、北部支所・センター・図書館で協力して対応した。 4年度の「苦情報告書」記録は2件。		
・再発防止策	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» お客さまから頂いたお声に対する回答を館内に掲示、ホームページ掲載するなど対応。また、各施設内での月例ミーティングで再発防止策を協議した。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
利用者等の安全・財産の保全・秩序維持のための適切な対応方法等について提案されている（確認事項19）				
・巡回による不審者・不審物の早期発見	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» ① スタッフによる定期巡回の他に、利用者の状況を見て館内外への巡回を実施。不審者不審物の早期発見に努めている。 ② 不審者対策としてのカラーボール、さすまたを事務所に常備。巡回用に無線機も継続して配置。 ③ 対応マニュアルまた緊急連絡網を整備し、災害時の報告方法を事務室内に掲示。スタッフがいつでも確認対応できる体制にした。 ④ トイレはじめ館内の見回りを定期的に行った。巡回により体調不良者・不審者・不審物等の早期発見に努めた。 〈楠葉〉 センター図書館合同でKBT警備部門の専門講師による不審者対応研修を実施・（6/27）	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

・地域との連携強化と利用者に対する注意喚起	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» ① これまで地域の民生委員(楠葉)や市の健康福祉担当(津田)とそれぞれ連携し、館内で発見したお困りごとを抱えていると思われる方の対応に当たってきた。 ② 女性消防分団と連携し、館内にて防災展示を継続実施中。 <楠葉> 施設の利用団体への不審行動に対し、樟葉駅前交番に協力を要請して巡回を強化、安心安全な運営に努めた。 <津田> 館内掲示にてAED、救命講習受講の啓発を行っている。	3 本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・図書館における財産の保全	3	図書館 «共通» ① 備品管理簿をもとに適切に管理した。 ② カビ対策のサーキュレーターを各館2台増設して稼働させた。(6台) ③ 図書修繕は、図書館所蔵「図書館職員のための補修マニュアル」「図書館のための簡単な本の修理」等を参考に日常業務として全スタッフで取り組んだ。	3 本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

市民サービス向上の観点からセルフモニタリングの計画を提案するとともに、利用者に対するアンケートについて、具体的に提案されている（確認事項20）

・サービスの質を高めるセルフモニタリングの実施	3	生涯学習市民センター 「共通」 ① 全来館者を対象とした利用者アンケートの実施。 ② 事業実施ごとに参加者の満足度調査アンケートを実施 ③ 月別に利用コマ数・利用率をまとめて課題を抽出。利用実績向上策を各センターの月例ミーティングにて検討。 図書館 「共通」 ① 貸出冊数・貸出人数・新規登録者数などを前年度と比較するセルフモニタリングを毎月1回開催し、変動理由の分析を行った。 ② 利用者アンケートについては、全館一斉実施（時期指定）のものと当館カウンターに常設（通年）しているものと並行して行い、利用者ニーズの把握に努めた。また、イベント開催時に必ず実施した。（「事業実施報告書」提出時に記載） 各館アンケートは下半期に実施した。 ③ リブネット4館2017年度～2021年度の利用状況調査を行い、データを数値化及びグラフ化。これを分析し、セルフモニタリングに活用した。 ④ リブネット4館2018年度～2021年度の利用者Web閲覧状況調査を行い、データを数値化及びグラフ化。これを分析し、セルフモニタリングに活用した。 【図書館利用者アンケート実績】 ＜楠葉＞ （イベント開催時に実施しているアンケートの利用者満足度：90%） ＜津田＞ （イベント開催時に実施しているアンケートの利用者満足度：92%）	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・サービスの質を標準化する各種会議の実施	3	生涯学習市民センター 「共通」 ① 3か月に1度拠点長会議に参加し、枚方だけでなく他施設の好事例を枚方に導入できるか検討。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		② 所長会議を受け、4館で整えるべきものがあれば随時所長ミーティングを開催。 ③ 4館業務リーダー会議（毎月開催）を継続実施。所長代行としてコロナ化でのオンライン事業の充実や4館での業務平準化に取り組んでいる。また会議では実務担当者としてのリーダー目線で運営課題を洗い出し、4館統一の利用者アンケートや研修などに反映。今後も所長代行としての意識を高め施設の中心人材として育成を図る予定。 図書館 «共通» ① 4館館長会議を月に1回開催。 ② リーダー会議開催（4/27、7/20、10/26、2/14） 当会議を合同開催行事・イベント実施に向けての協議の場・サービスの標準化の場と位置付けている。これにより図書館サービスの安定的な運営に努めた。 ③ その他各種委員会開催（随時） サービス向上委員会、子ども読書活動推進プロジェクトを開催した。	
・利用者の意見の聴取と反映	4	生涯学習市民センター «共通» 窓口での日常の応対において、プラスアルファのコミュニケーションを心掛け、意見聴取に努めた。 〈楠葉〉 利用者アンケートの結果を利用者懇談会で公表、貸出備品の追加、諸室内空調環境の改善に取り組んだ。 〈津田〉 ① 市内小学生からいただいたミニ四駆コース設置のご要望を自主事業に反映。2023年4月に特設サーキットでの走行会を開催に繋げ喜びのお声を頂戴している。 ② 利用者からのご要望が多いバイク専用駐輪場を新設。利便性向上に努めている。 ③ 利用者懇談会でのご意見をもとに音楽室の防音対策、和室の置交換、駐車スペースの有効活用の実現に向けて調整中。 ④ 日頃の利用者の声を参考に、新たな購入備品の検討を進め、和室のラクチン正座イスなどを備品追加。 図書館 〈津田〉	4 利用者からの要望についてできないことがないか検討し、市に相談のうえ、できる限り対応しようとしている姿勢を評価します。

		椅子の配置が気になり落ち着いて雑誌が選べないという利用者からの声をもとに、雑誌架・椅子の配置を変更しご満足いただけた。		
・利用者の要望把握のための具体的な取り組み	3	生涯学習市民センター «共通» ① 利用者アンケートだけでは取り切れないご意見を1月開催の利用者懇談会にて利用者からヒアリングしている。 ② 項目がバラバラであった自主事業アンケートを統一、満足度をNPS値にて見える化。 図書館 «共通» 図書館利用者へのニーズの把握のためにアンケートをイベント参加者や福袋の利用者に対して実施した。 (内容を取りまとめ、実施可能な案件については即対応した。 →利用者には掲示・HPで回答)	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

【施設の管理に関する事項】

関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った運営計画が提案されている（確認事項21）

・法令遵守に向けた体制の構築	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» 個人情報保護方針、コンプライアンスデスク案内に関する掲示を事務所内に実施。 ※万が一セキュリティ事故を起こした際は 社内マニュアルに沿って、速やかに対応 できる体制づくりができています。 生涯学習市民センター «共通» ① 労働基準法に基づき、有給取得義務化、過重労働にならないための出退勤管理を本社主導でシステム管理する体制を構築。 ② 本社主催の「下請法」研修を所長受講。ビジネスにおける「下請法」の概要、下請法違反のリスクの理解を中心に公正な商取引に関する知識を深め、コンプライアンス意識を更に高める。(3月) ③ コンプライアンス研修を実施(9/26) 過去の不祥事案を題材にグループディスカッションを実施。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
----------------	---	--	---	------------------------

		④ スタッフ全員がDaigasグループ企業行動基準およびコンプライアンスデスク案内用のカードを携行。 ⑤ コンプライアンス意識の向上を目的としてDaigasグループが開催しているコンプライアンス標語コンテストに毎年スタッフ全員が参加。 図書館 «共通» 「正当な理由がない限り…不当な扱いをしてはならない」との地方自治法の244条、「図書館法」「枚方市図書館条例」「著作権法」などについて、毎月一回の館内会議にて確認する場を設けた。		
・施設の設置目的に沿った運営計画	3	生涯学習市民センター «共通» ① 「センター条例」「基本方針」「規則」など関係法令は事務所内スタッフ誰もが目にすることが出来る環境を継続して実施。 ② 提案書記載事項の未実施項目を洗い出し、施設の運営計画に反映している。 図書館 «共通» 「枚方市立図書館第4次グランドビジョン」の運営方針「生涯の学びを支え、人と人との交流を創出する図書館」「子どもの読書活動の推進に取り組む図書館」「多様な利用者が利用できる図書館」「効果的・効率的な運営による魅力的な図書館」を基に取り組んだ。具体的には、図書館の本分である資料提供（貸出）に重点を置き、レファレンス・調べ学習へは適切な対応、中学職場体験・学校訪問・図書館見学受入・図書館実習等の受け入れに積極的に取り組んだ。また「課題解決型図書館」として健康・医療情報、子育て支援サービスに取り組んだ。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

建築設備全般に係る点検・保守を適切に実施し、機能保全・利用者への安全、快適な環境が提案されている（確認事項22）				
・PDCAマネジメントシステム	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» JV3社で毎月情報交換の場を設け、年間修繕計画を策定。進捗状況などをチェックしながら優先順位を設けて計画的に実施。台風・大雨など気象状況に応じて柔軟に調整を実践した。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・予防保全とL C C(ライフサイクルコスト)の最適化	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» KBTの適切な管理のもと行っている施設会議の内容を踏まえ、四半期に一度の各社本社部門も交えたJV運営会議にて、内容を精査、都度修正を加える。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・モニタリングシステム(メンテナンス担当)	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» 四半期に一度の各社本社部門も交えたJV運営会議にて、施設会議の内容を精査。合意内容を反映した計画にKBT主導で修正。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
施設内で生じた廃棄物の適切な一時保管、搬出・処理の提案がされている（確認事項23）				
・枚方市の廃棄物に係る条例に基づいた適切な分別・一時保管・搬出・処分	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» ① 廃棄物の種別ごとに分別したうえで明示を行い適正に保管。 ② 産業廃棄物、一般廃棄物収集運搬処理業者と契約の上、適正に処分を実施。 ③ KBT清掃部門と連携して法令に沿った適切な管理を行っている。 ④ 分別状況については毎日清掃スタッフがチェックを行い記録している。 ⑤ 4センターの廃棄物管理担当者は廃棄物処理法に関する研修を受講し、法令改定にも適切に対応している。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

・遺失物の適正処置	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» 遺失物法に基づき適正に保管届出。 ※拾得物情報は閲覧ファイルを設置し、公開中。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・リサイクル推進による環境負荷低減	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» ① 子どもに本を届ける事業や地域の古紙回収に協力する等、リサイクル推進に努めている。 ② 施設から出るペットボトルは資源ごみとして排出し、リサイクルに回すことで、ごみ削減に努めている。 〈楠葉〉 ① 「ベジベジくずはキッチン」にて古紙をセンタースタッフが紙袋として再生し、野菜市の購入者に配布。 ② 自習スペース利用者から消しゴムの消しカスを入れるゴミ箱が欲しいとのご意見があり、古紙を利用したゴミ入れをセンタースタッフが作成。 図書館 «共通» 破損等のため除籍した図書・雑誌をリサイクル本として市民へ譲与。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
備品管理に当たり、管理簿の整備並びに責任所在について提案されている（確認事項24）				
・帰属先や責任区分など明確にして管理	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» 年度毎に備品棚卸とリスト化を実施。市引継ぎ備品と指定管理者備品それぞれの備品台帳を整えている。備品数の多いセンターにおいては担当者を配置し一元管理することで、より明確な管理、棚卸し時間の短縮を図っている。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・備品の利用前点検と棚卸の実施	3	生涯学習市民センター «共通» 貸出備品については台帳を基に運用実施中。 図書館	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		«共通» 年に一度の蔵書点検の実施。不明本の所在を確認し正しい場所に配架している。		
・貸出備品の返却後チェックの実施	3	生涯学習市民センター «共通» 料理室用の貸出備品やプロジェクターの付属備品等は、別途チェックリストを用いて返却後チェックを実施。 図書館 «共通» 返却本について処理を通す前に状態チェックを行っている。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

業務仕様書の規定に従い、資格を必要とする業務に有資格者を配置するなど適正な人員配置が提案されている（確認事項25）

・各分野の専門知識とノウハウを有するスタッフを適切に配置	3	生涯学習市民センター «共通» 仕様に基つき、所長、リーダーに非限定社員を1名ずつ配置。生涯学習活動や地域活動の経験を有する者を中心にスタッフを適切に配置している。 ※欠員や大規模イベントの際などには本社からのバックアップにより、人員を配置するサポート体制を取っている。 所長、リーダーは公共施設マネジャー能力認定講習取得済。 〈楠葉〉 ① 所長が「メンタルヘルスマネジメントⅡ種」取得済。スタッフのメンタルヘルス不調の未然防止に取り組んでいる。 ② 食品衛生責任者取得者が「ベジベジくずはキッチン」や料理事業を専門知識を活かし担当。 ③ 所長以下4名が「ユニバーサルマナー検定」取得済。多様利用者への適切な対応を実施。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・図書館運営スタッフは、全人員の70%以上に司書資格所有者を配置	3	図書館 «共通» ① 業務仕様書で定められた司書保有率を確保している。保有率82% （楠葉/全スタッフ20名、津田/全スタッフ14名） ② 月次のシフト表に加えて、スタッフ毎の日次タイムスケジュール表（行動表）を作成している。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・楠葉施設、津田施設はお互いの業務をサポートしあう体制を構築、構成企業各社の管理部門および、それぞれが所属する企業グループによるバックアップ	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» センター同士・図書館同士での情報交換はもちろん、センターと図書館との間でも連携して事業実施・広報活動・利用者対応に当たっている。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

公正採用への対応として、大阪府公正採用選考人権啓発推進員設置要綱、又は大阪労働局公正採用選考人権啓発推進員設置要綱に基づき、「公正採用選考人権啓発推進員」を設置している (確認事項26)				
・公正採用選考人権啓発推進員の選任	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» 担当役員を選任し、現場スタッフに欠員が生じた際には迅速に公募し採用選考を実施。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
全ての従事者が人権について正しい認識を持って業務を遂行できるよう人権研修について提案されている(確認事項27)				
・全スタッフを対象とした人権研修の実施	3	生涯学習市民センター «共通» ① 日頃から会社が発行する人権ニュースの回覧、人権標語への応募等全スタッフ対象に人権に対する意識啓発活動を実施。 ② ハラスメント、LGBT等、人権にかかわる最新情報や知識のアップデートを定期的な研修の場で共有。 図書館 «共通» ① ユニバーサルマナー研修責任者受講済(館長、リーダー、サブリーダー) 人権問題や障害者差別解消法等に係る正しい理解を持ち、特に障害者に対しては合理的配慮に気を配ってきた。 ② 全スタッフを対象にパワハラ・セクハラ・LGBT等について学ぶ「人権研修」を実施した(12月)。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・障がい者を理由とする差別の解消に向けた人権研修の実施	3	生涯学習市民センター «共通» ① 「ミライロID(障がい者手帳アプリ)」に登録。 ② 聴覚障がい者向け筆談ボードを常設する等、窓口対応環境を整えている。 ③ 利用団体の手話サークルに協力いただき、スタッフ研修にて手話での窓口対応トレーニングを実施。 ④ 本社研修「障がい者雇用状況、関連法令、障がい特性に応じた合理的配慮等についての階層別研修」、「人権研修」にて社会で発生している多様な人権問題について見識を広め、人権意識の向上を図る。(12・2月)	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		＜楠葉＞ ① 所長以下4名がユニバーサルマナー検定3級講座を取得済。 ② 日本図書館協会主催「図書館基礎講座2022in関西」(2/13)「読書バリアフリー法と図書館」をに所長以下2名が出席し、バリアフリー研修を受講。 ＜津田＞ ユニバーサルマナー研修実施（9/26） 図書館 ＜共通＞ 今年度は、全スタッフを対象に「人権研修」（12月）を実施した。 ＜楠葉＞ 障がい者生活相談員資格認定講習受講済。（1名） ＜津田＞ サブリーダー2名がユニバーサルマナー検定3級講座を受講した。		
・施設のハード面のユニバーサルチェックを行うとともに、スタッフがユニバーサルマナーを身につける	3	生涯学習市民センター 共通 利用団体の手話サークルに協力いただき、スタッフ研修にて手話での窓口対応トレーニングを実施。 ＜楠葉＞ 所長以下4名が、ユニバーサルマナー検定3級講座取得済み。 ＜津田＞ ユニバーサルマナー研修を実施。車いすの取扱いに関する講習も実施。 図書館 ＜共通＞ 館長・リーダー・サブリーダー計8名がユニバーサルマナー検定3級取得した。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

障害者法定雇用率が達成されている（申請段階で未達成の場合は、本施設における雇用をはじめ雇用率が達成できるよう事業計画書で提案されている）（確認事項28）				
・構成各社の障がい者法定雇用率を達成しているか	3	各社、法定雇用率を達成している。 ・ OGBC 障がい者法定雇用率： 2.38% ・ リブネット 障がい者法定雇用率： 2.41% ・ KBT 障がい者法定雇用率： 2.42%	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
男女雇用機会均等法に基づくセクシャル・ハラスメント防止対策について提案されている（確認事項29）				
・人権研修やコンプライアンス研修の実施	3	生涯学習市民センター «共通» ① 施設内で起こりうる事例を想定したケーススタディによるグループワーク形式やeラーニングでのコンプライアンス研修を実施。 ② 人権およびコンプライアンス意識の向上を目的としてDaigasグループが実施しているコンプライアンス標語、人権標語コンテストに毎年スタッフ全員が参加。 ③ セクハラ等のハラスメント防止についても研修を実施。 ④ 社内及び外部の法律事務所に相談窓口を設置し、電話やメールにて相談が行えるような体制を整えている。 ⑤ 障がい者雇用についての階層別研修に所長が参加。（12月） ⑥ 社内の人権研修に所長以下サプリーダーが参加。（2月） 図書館 «共通» ① 今年度は全スタッフを対象に「人権研修」（12月）実施した。 ② セクハラ等のハラスメント防止についても研修を実施した。 ③ 社内及び外部へ相談窓口を設置。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・スタッフの自己啓発、スキルアップを支援する制度の整備	3	生涯学習市民センター «共通» ① 資格取得支援制度が整っており施設運営に必要な研修等の補助あり。 ② Daigasグループ共通の法務講習を受講。 ③ 各センターに公共施設マネジャー能力認定講習会の修了者を配置している。 図書館	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		«共通» ① 施設運営に必要な研修等の補助あり。（司書資格取得） ② 館長以下業務リーダー・サブリーダーがユニバーサルマナー検定3級取得。 ③ 社内にセクシャルハラスメント防止に関する相談窓口を設置。 巡回担当者が巡回時に、全スタッフの日常的な要望等を汲みとる仕組みを構築している。 <楠葉> リーダー「障がい者生活相談員資格」取得。		
・産前産後休暇や育児休業制度、介護休業制度の運用	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» 法定通り整備している。 <楠葉> 介護休暇取得実績有り。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

【情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項】

枚方市情報公開条例の目的等を踏まえ、管理運営事業で保有する情報の公開に関する対応が明確に示されている（確認事項30）

・保有する情報公開に関する対応	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» ① 施設運営に関わる文書は「枚方市文書取扱規程」に則り適切に管理し、保管。 ② ご意見箱等に頂いたご利用者さまのお声については随時回答を事務所カウンター付近およびホームページ上に掲示。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・文書管理	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» 文書は「枚方市文書取扱規程」に則り、カギのかかるキャビネットなどで、文書種別に応じた保管期間を遵守して管理。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

個人情報保護法の目的等を踏まえ、個人情報の保護に関する必要な措置について明確に示されている（確認事項31）				
個人情報の保護及び適切な取扱いを徹底した管理体制の構築	3	生涯学習市民センター/図書館 《共通》 ① プライバシーマーク基準に準拠した管理運営を徹底。プライバシーマークについては、管理者の名刺上で表示。 ② 個人情報保護方針を事務所内に掲示している。 ③ 各社内部監査による運用チェックを年次で実施。 ④ 緊急連絡網を定期更新し、事案毎の報告ルートを明確化。 生涯学習市民センター 《共通》 情報セキュリティに関する研修（eラーニング）を実施。また2週間に1度管理本部長から啓発メールの送付。都度スタッフに注意喚起することにより適切な管理体制を構築。 図書館 「図書館の自由に関する宣言」等、その他の関わる方針や規定を事務所等に備え付け、または掲示中。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

【緊急時における対策に関する事項】				
両施設（監視盤等）の状況を踏まえ、緊急時・防犯・防災対策の危機管理マニュアル作成等が提案されている（確認事項32）				
・両施設（監視盤等）の状況	3	生涯学習市民センター/図書館 《共通》 施設巡回時や監視盤にて設備の不具合を発見した際にはKBTのファシリティーダーに連絡する体制を整えている。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・危機管理マニュアルの整備	3	生涯学習市民センター/図書館 《共通》 ① 18年度に整備した危機管理マニュアルを随時更新。 ② 枚方市と災害対応に関する協定を締結。適切に危機管理を行っている。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・危機事象の記録	3	生涯学習市民センター/図書館 《共通》 日報に記録。状況により関係部署に適切に報告している。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

・緊急時・非常時に対する備え	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» ① 緊急時・非常時に対する備えとして共同企業体構成団体であるKBT主導で毎月1回、施設会議を実施し状況を把握。 ② 夏季の空調不具合や豪雨による被害発生時にも迅速に設備修繕を実施することで利用者への安全安心を第一に対応している。 ③ 事務所内に防災バッグ、非常食をはじめとした防災グッズや経口補水液、熱中飢などの熱中症対策備品を常備し定期的に点検を行っている。 ④ コロナのため楠葉6名、津田3名普通救命講習未受講（9月受講予定）。 ⑤ 金銭管理は施錠保管、定期実査チェックを徹底。 ⑥ 市内の公共施設に爆発物をしかけたとの脅迫FAXが市に届いたため施設点検を実施。清掃スタッフも含めJV間で迅速に情報共有し利用者の安全確保に務めた。（1/30） 生涯学習市民センター «共通» ① 還付金を含めた金銭は2名でのダブルチェック体制、及び金種毎に区分けしての施錠管理を実施。また毎月1回統括管理者による実査を行う等、適切な運用体制を整えている。 ② 大規模災害発生時を想定してDaigasグループの安否確認訓練を定期的に行っている。 ③ 女性消防分団と連携して防災意識向上の展示を行う等、市民の防災意識の啓発活動を実践。 〈楠葉〉 ユニバーサルな施設利用に対応できるよう、障がい者雇用枠のスタッフ目線から施設ハザードマップを更新。 〈津田〉 枚方市危機管理対策推進課の発行する広域防災ハザードマップ、防災ガイドをロビーに設置。市民の防災意識啓発に努めている。 図書館 «共通» 災害時の停電・電話不通のときにも使えるトランシーバーを各館2台常備。 非常時用ランタンを各館1台常備。 〈楠葉〉 楠葉図書館:枚方市防災マップ（平成31年4月刊） [※現在「防災ガイド（保存版）」令和3年4月刊]を参考に「楠葉地域洪水マップ」を作成（更新）し市民への啓発活動に取り組んでいる。（常時館内掲示）	3 本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
-----------------------	----------	--	--

緊急事態発生時又は発生が予測される場合における常時連絡可能な体制・方策が提案されている（確認事項33）				
・明確な緊急時の役割分担やバックアップ体制	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» ① 緊急連絡網を整備し、緊急時にはKBTが一次対応し、統括責任者・副統括責任者や、スタッフも緊急で駆け付けられる体制を構築済。センター、図書館それぞれの施設単位でも緊急連絡網も作成。 ②近畿地方に寒波襲来（1/25）。大雪の影響で交通機関の乱れが発生したが近隣スタッフの駆けつけ対応などにより通常どおり開館。KBTの緊急巡回も迅速に行い利用者の安全確保に努めた。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
構成員間（本支社間含む）、市との間におけるリスク分担に対する考え方が明確に示され、かつ考え方に対応した分担内容となっている（確認事項34）				
・共同事業体構成各社における適正なリスク分担	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» 修繕費、水光熱費など、予算比率に応じて適切にリスクを分担・執行。JV間で細則協定にて締結済。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

・共同事業体運営会議で意見交換し、事前にリスクヘッジできるような体制を構築する	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» ①共同事業体運営会議で意見交換し細則協定を結び、事前にリスクヘッジ体制を構築。 ②不測の事態に備えて施設賠償保険等に参加済。JV会議および施設会議を都度実施し協働事業体として運営品質の向上に努めている。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
---	---	--	---	------------------------

【その他】

利用者サービスを維持・向上させる具体的な取組みについて提案されている（確認事項35）

・基本研修	3	生涯学習市民センター «共通» ① コンプライアンス、環境保全、個人情報保護、情報セキュリティ、接遇、ユニバーサルマナー、クレーム対応研修。 ② 感染症対策として、ZOOMを活用したリモート形式を積極的に活用。 図書館 «共通» ユニバーサルマナー研修、人権、障がい者接遇、クレーム対応研修（全体会議）等を実施。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・階層別研修	3	生涯学習市民センター «共通» 【所長】 ① 管理者マネジメント研修（管理者の役割、パワハラ等）（10月） ② ロジカルコミュニケーション研修（11月） ③ 障がい者雇用についての研修（11月） ④ 「チームマネジメントの理論と実践」をテーマにした拠点長研修（12月） ⑤ 人権研修（2月） 【業務リーダー】 ① 商標研修（9月） ② 著作権研修（11月） 【全スタッフ】 ① 不審者対応研修（KBT協力/図書館合同）（6月） ② 人権研修、個人情報保護研修、情報セキュリティ研修、契約実	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		務研修、DX基礎研修、個人情報保護教育研修 <津田> マネジメントスキル向上のためのコーチング研修に所長が参加。 図書館 «共通» リーダー研修、図書館情報学・レファレンス・情報探索研修 等 (中央や府立図書館で研修済み)		
・専門技術研修	3	生涯学習市民センター <楠葉> ① サブリーダー1名が、青少年センターで開催の音響講習を受講。(7月) ② 「一般社団法人指定管理者協会 令和4年度第3回オープンセミナー」(11月) ③ 日本図書館協会主催「図書館基礎講座2022in関西」にて「読書バリアフリー法と図書館」を所長以下2名受講。(2月) 図書館 «共通» ① 文化庁著作権講習、児童サービス研修、レファレンス研修 等 ② 毎月第4月曜日には館長によるスタッフ研修（各館全体会議）でスキルアップを図っている。 ③ 中央図書館から案内があれば業務に支障のない限り自館スタッフが参加できるよう配慮した。（参加後は、「復命書」により伝達研修）	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
環境に配慮した管理運営を目指し、ごみの削減、省エネルギー等具体的に事業計画で提案されている（確認事項36）				
・環境問題への意識向上を図るためのスタッフ向け研修	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» ① 持続可能な開発目標SDGsに関する研修を実施するなど、グループとして活動推進を図る。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		② 環境管理活動についての研修を実施。 ③ クールビズ・ウォームビズの導入、不要照明の消灯などの省エネルギー対策に取り組む。 生涯学習市民センター «共通» 全員名札にSDG s バッチを着用		
・市民向けの啓発事業	4	生涯学習市民センター/図書館 «共通» ① 打ち水大作戦など枚方市が推進する環境の取り組みに積極的に参加している ことで市民への意識啓発に努めている。 ② 「プラごみダイエット行動宣言」ポスター掲示による環境啓発コーナーを設置、 市民向けの啓発活動を実施中。図書館ではごみ削減やSDG s に関する図書を集めたコーナーを設置。 生涯学習市民センター <楠葉> 自主事業「親子木工教室」(7/21) 参加10組20名(定員10組20名)にて減量業務室職員による枚方市の環境への取り組みについて、参加者に講座を開催。 <津田> ゴーヤのグリーンカーテンづくりを通しSNSやセンターだよりで環境への意識啓発を行っている。ゴーヤのグリーンカーテンの取り組みは枚方市主催の「緑のカーテンコンテスト」において優秀賞を獲得。市民ボランティアとの協働事業としての展開を計画。 受賞については、ひらかた環境ネットワーク会議会報誌「環境ひらかたNO.77春号 令和5年(2023年)」でも紹介されるなど市民の意識啓発に寄与した。	4	枚方市が推進する環境の取り組みにも積極的に参加し、市民への啓発活動を行っている。 特に、ゴーヤのグリーンカーテンづくりでは、成長の様子をSNSを通じて配信し、枚方市主催の「緑のカーテンコンテスト」において優秀賞を獲得するなど積極的な取り組み姿勢を評価する。
施設の利用促進に繋がる広報活動等について具体的な実施計画が提案されている(確認事項37)				
・タウン誌などマスコミへのパブリシティ活動	3	生涯学習市民センター <楠葉> 地域の子育て世代向けフリーペーパー「いいね新聞」に毎号施設・事業紹介掲載。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		※20,000部発行(毎号) 〈津田〉 「つだ生〜サークル体験仮入部〜」の開催告知チラシを関西ばどにチラシを 折込み（津田・藤阪地区10,000世帯に配架） 図書館 «共通» 「K-PRESS」などの広報媒体を活用しイベント開催情報発信。（4月号） 〈津田〉 ①「妖怪クイズラリー」に関して、朝日新聞、ABCテレビの取材協力 ② 津田図書館イベントについて雑誌「みんなの図書館」（4月号）に掲載された。		
・定期広報誌の発行と配布リーフレット・ポスター等の作成	3	生涯学習市民センター/図書館 «共通» ① センターと図書館の定期広報誌「センターだより」を毎月発行。各センター、図書館、その他施設へ配架。 ② 楠葉並木郵便局、枚方楠葉郵便局、枚方東郵便局ラック枠へそれぞれ「センターだより」をラック広告として毎月設置。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・ホームページの作成とSNS等での情報発信	3	生涯学習市民センター «共通» ① 生涯学習情報サイト「まなび百科」を運用中。その他HPなど新規コンテンツの追加や既存コンテンツの充実を図り、HPと「まなび百科」合計の平均月間ユーザー数は昨年度対比で184%へ増加。（2022年度5712名／月、2021年度3102名／月） ② 各センターFacebook・Twitterにて情報発信。 〈楠葉〉 ①Facebook、Instagramを活用。 Facebookでは「ひらまな歴史散歩」をシリーズ化（上期2回、通算6回）して配信。フォロワー45名。 Instagramでは、料理室の紹介や団体活動風景の投稿、地域の飲食店紹介を行い、フォロワーはフォロワーは上期比130%の260名まで上昇。 ② HP上にサークル紹介ページを作成、51団体が掲載。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		<津田> ①「おうちで楽しむ☆つだミュージックライブ」オンライン特設サイトを開設しYouTubeアカウントを活用して映像を公開中。（参加9バンド） ② ゴーヤの成長記録、各種イベント情報などを公式Twitter、Facebookで発信。公式Twitterではロビー自習スペースの空き状況も発信中。 ③ HP上にサークル紹介ページを設置中。42団体が掲載。同ページにおいて動画でのサークル紹介を掲載する等、利用促進にも繋げている。 図書館 «共通» ① HP、Facebook、Twitterにて情報発信。 ② ホームページやFacebookなどを活用し、イベント情報や新着図書のご案内を実施。 ③ LINEスタンプを累計11個販売。		
・エフエムひらかたとの連携	3	生涯学習市民センター <楠葉> 昨年度でのエフエムひらかた閉局に伴い、代替媒体として観光情報誌「ひらいろ」を選定。第14号に「くずは料理部」情報掲載。同号掲載のスタンプラリー企画で16名新規来館。(11/3～12/3)	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。
・京阪電鉄との連携	3	生涯学習市民センター <楠葉> ① 樟葉駅構内へ年間を通してB2ポスターを掲出。定期的に内容を更新し各種事業や施設の利用促進PRを図った。 ② 沿線情報誌「K-PRESS」への広告掲載（5・8・11・2月）。掲載した音楽室・視聴覚室紹介が好評で、2件の新規団体登録につながる。 <津田> 「つだ生サークル～体験仮入部～」開催告知を京阪Gイントラネットに掲載、枚方東郵便局にセンターだよりを設置するなど京阪グループのメリットを活かした広報活動を展開中。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できる。

		図書館 «共通» 「K-PRESS」2022年4月号に「春のスタンプラリー」のお知らせ掲載。		
--	--	--	--	--

指定管理者による一次評価 平均点	3.1	所管部署による二次評価 平均点	3.1
------------------	-----	-----------------	-----

評価項目ごとの評価基準（1(1)）		
S	事業計画における提案以上に、特に良好な管理運営を行っている	二次評価の平均点が4点以上
A	事業計画に則した適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が3点以上4点未満
B	事業計画の履行において一部努力が必要だが、概ね適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が2点以上3点未満
C	事業計画の履行において、抜本的な管理運営の改善が必要	二次評価の平均点が2点未満

評価項目 1 業務の履行状況（1）選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標） に関する事項の評価（所管部署）	A
--	---

(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）である
△	一部改善は必要であるが、概ね適正（適切）である
×	不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・収支予算書と比較して収入額が大幅に乖離している場合、その理由は何か、また、今後安定した収入を得られる見込みがあるか。	○	適正である。	○	適正である。
・収支予算書と比較して、想定外に多く支出している費目がある場合、その理由は何か、また、今後、予定外の支出が発生するおそれはないか。	○	適正である。	○	光熱水費について例年より支出が増加しているが、燃料価格高騰等を原因とする不測の事態であり、その他の支出は適正であることを確認した。
・運用資金の借入れを行っている場合、その理由は適当か。	○	適正である。	○	適正である。
・口座管理、つり銭等の現金管理は適正に行われているか。	○	適正である。	○	適正である。

評価項目1 業務の履行状況 (2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況の評価（所管部署）

A

評価項目 1 (2) の評価基準			
S	全ての項目が適正（適切）であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる	
A	全ての項目が適正（適切）である	全ての項目が○	
B	一部改善は必要であるが、概ね適正（適切）である	△が20%未満	
C	改善を要する点が多数ある、又は不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	△が20%以上又は×が1個以上	

(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）に実施している。
△	一部改善は必要であるが、概ね適正（適切）に実施している。
×	実施していない、又は不適切な点がある

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・募集要項2ページに記載している再委託禁止に関する事項を順守し、市の承認手続きが適切に行われているか。	○	適正である。	○	適正である。
・指定管理業務に伴い発生する経費及び収入を、指定管理者が他の事業等で利用する口座とは別の口座で管理しているか。	○	適正である。	○	適正である。
・自主事業を実施するため計画を立てているか。市の事前承認を得るための手続きを進めているか。	○	適正である。	○	適正である。
・個人情報保護法等の関係法令に基づき個人情報保護に関し必要な措置を講じているか。	○	適正である。	○	適正である。
・労働基準法等の労働関係法令を遵守しているか。	○	適正である。	○	適正である。
・正規職員・常勤職員等市が定めた各職の要件が充足しているか。	○	適正である。	○	適正である。
・生涯学習市民センターに所長・リーダー・サブリーダーによる交代勤務で2人以上の配置としているか。	○	適正である。	○	適正である。
・研修計画を作成しているか。	○	適正である。	○	適正である。
・職務の執行に対する意見、要望等の記録等に関する条例に基づき記録等の対応を行っているか。	○	適正である。	○	適正である。
・指定管理者が業務に伴って作成し、又は受領した文書等に関し、文書管理に関する規定等を定め、適正に管理・保存しているか。	○	適正である。	○	適正である。
・募集要項13ページに記載している「環境への配慮」が適切に行われているか。	○	適正である。	○	適正である。
・適切な保険に加入しているか。	○	適正である。	○	適正である。
・指定管理者名と設置者としての市の連絡先を施設内に表示するとともに、利用料金表等に明記しているか。	○	適正である。	○	適正である。
・障害者法定雇用率が達成され（又は達成に向けて取り組まれ）ており、募集要項14ページに記載している障害者差別解消に関する取り組みが行われているか。	○	適正である。	○	適正である。
・利用者に対するアンケート等、利用者ニーズの情報収集を適切に行うとともに、その結果を踏まえて改善に取り組んでいるか。	○	適正である。	○	適正である。

・事業報告書、日報・月報等を遅滞なく市に提出するとともに、業務の実施状況が適切に報告されているか。	○	適正である。	○	適正である。
・施設や設備等の修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われており、適宜、市に報告されているか。	○	適正である。	○	適正である。

評価項目 1 (3)の評価基準			
S	全ての項目が適切に実施されており、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる	
A	全ての項目が適切に実施されている	全ての項目が○	
B	一部改善は必要であるが、概ね適切に実施されている	△が20%未満	
C	改善を要する点が多くある、又は不適切な点があり、直ちに改善を求める	△が20%以上又は×が1 個以上	

評価項目1 業務の履行状況 (3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項の評価 (所管部署)	A
---	---

(4) 改善指示等への対応状況

指示を行った時期	内 容	指定管理者による一次評価	所管部署による二次評価
		対応状況	評価内容
令和 年 月	該当なし		

評価項目 1 (4)の評価基準	
S	全ての内容について適切に対応されており、かつ、特に優れた対応が見られる
A	全ての内容について適切に対応されている
B	一部対応が不十分な点又は改善を要する点が見られるが、概ね適切に対応されている
C	対応又は改善を要する点が多数ある、又は不適切な点があり、直ちに対応又は改善を求める

評価項目1 業務の履行状況 (4) 改善指示等への対応状況の評価 (所管部署)	
---	---

2 業務の継続性・安定性

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）である
△	一部改善は必要であるが、概ね適正（適切）である
×	不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・応募の資格に抵触する事項はないか。	○	適正である。	○	適正である。
・施設の収支状況（自主事業の収支を含む）が安定しているか。（赤字の場合は、その赤字分を継続的・安定的にカバーできる財務状況となっているか。）	○	適正である。	○	適正である。
・その他、団体の経営に影響する要素はないか。	○	適正である。	○	適正である。

評価項目 2 の評価基準			
S	継続的・安定的にサービスを提供できる状態であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる	
A	継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	全ての項目が○	
B	一部改善は必要であるが、概ね継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	△が20%未満	
C	改善を要する点が多数ある、又は不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	△が20%以上又は×が1個以上	

評価項目 2 業務の継続性・安定性の評価（所管部署）

A

一次評価コメント

◆センター

＜グループ＞

広報活動強化による新規団体の獲得、体験、見学イベントの実施による新規サークル立ち上げ、発表イベントの増加による練習利用増などコロナの影響により落ち込んだ稼働率回復に向けた取り組みを両施設とも展開してまいりました。

それぞれの施設特性にあわせて取り組みを推進し、年間の新規利用団体数は、楠葉：50団体、津田：32団体と引き続き高水準の新規登録者数を維持し、着実に新規利用を獲得しております。また、部屋稼働率も、楠葉：54.2%（昨年差+6.7%）、津田42.5%（同差+2.5%）と昨年以上の実績を残すことが出来ました。

事業開催については楠葉では自主事業21事業（昨年度25事業）・活動委員会事業9事業（同5事業）、津田で自主事業13事業（同10事業）・活動委員会事業9事業（同10事業）を実施し、コロナの制限があるなかでも学び、交流推進に努めてまいりました（※事業数はまちなか植物園、まちなか水族館、まちなか昆虫館、コピーサービス、ラミネートサービスを除く）。そのほか設備管理面においては修繕予算を枚方市さまと調整しながら設備担当の京阪ビルテクノサービスと連携して計画的かつ効果的に活用し、安心安全の施設運営を行ってまいりました。

第二期指定管理期間においても「諸室使用率の向上」「図書館との更なる連携」を目指し、提案書に盛り込んだ施策を初年度から積極的に展開し、運営コンセプトである“市民が『まなび』と『つながり』を共有する、暮らしの中のサードプレイス”を実現するため本社部門と連携しながらJV一体となって取り組みを推進してまいります。

＜楠葉センター＞

コロナ禍からの稼働率増を軸に運営。特に夜間の稼働率、個人利用促進について主に取り組みました。新規団体獲得に向け、樟葉駅での駅貼りポスター、ひらいろ、K-PRESSでセンター利用の訴求を実施しました。自主事業でも「グランドピアノ一般開放します」を2回開催し、個人利用がコロナ前と比べ約5倍になるなど稼働率増に寄与しました。また、SNSと自主事業を連動させた「くずは料理部第3回Instagram「ホシノ天然酵母の基本」」では単にライブ配信を行うだけでなく、アーカイブ配信、内容を派生させたショート動画を配信することでSNSを見ての新規4団体を獲得。新規団体数、料理室の稼働増に繋げることに成功いたしました。同SNSでは自主事業「ベジベジくずはキッチン～ひらかた野菜の金曜市～」の様子も発信し、新たなアプローチでセンターの広報活動を実施できたと考えております。昨年度より開催している図書館との連携事業「おはなしワールド」も継続実施。「おはなしワールド」以外の事業でも図書館スタッフから事業に関連した本を紹介し、貸出数増にも寄与するなど取り組み内容を深化させております。

3年ぶりの開催となったくずは5月祭もコロナ前より5団体多い30団体が参加し、感染対策と両立できる形式で舞台発表、展示を実施。昨年度コロナ禍で開催したくずは活動発表会で得た経験を準備・運営に活かしてトラブルなく無事に開催。昨年度コロナ禍で開催したくずは活動発表会で得た経験を活かし実行委員会と連携を取りながら成功させることが出来ました。来年度も引き続き積極的な施設PR、新しい事業開催によりセンターの稼働率、魅力向上に取り組んで参ります。

＜津田センター＞

コロナの影響により落ち込んだ稼働率の回復策として6事業（つだ生サークル体験シリーズ2事業、大人の秘密基地シリーズ、つだウインターコンサート、ミニ野菜市、えほんのひろば）を新規展開いたしました。特にサークル体験シリーズには延べ37団体が参加し（体験見学延べ64名）、新規サークルの立ち上げにも繋げることが出来ました。またサークル紹介動画、部屋紹介動画、SNSを通じた情報発信を積極的に行うことで既存サークルの活性化、新規利用促進、認知度向上の施策を推進し、4月に37%台であった稼働率が3月には50.1%まで回復させることに成功しました。その他にもSDGsの取り組みとして推進してきたゴーヤのグリーンカーテンが「緑のカーテンコンテスト」にて優秀賞を獲得するなど継続的な取り組みについて評価をいただくことが出来ました。今後は摂南大学薬用植物園とも連携し、市民ボランティアとの協働事業として展開することで、更なる魅力向上を図ります。

設備面においてはご利用者さまからのご要望が多かったバイク用駐輪場を新設するなど、市民目線での利便性向上にも努めてまいりました。次年度以降においても市民の皆さまのお声を丁寧に取り上げ、より満足度の高い施設運営を目指して取り組んでまいります。

◆図書館

＜グループ＞

令和4年度は、withコロナの状況の中、引き続き感染防止に気を配りながらもコロナ以前のにぎわいを取り戻すべく日々取り組んでまいりました。指定管理5年目となった当年度は、利用者サービス・資料管理・施設管理とともに、これまでの4年間の経験を生かし着実な運営ができたものと考えております。「電子図書館使い方講座」を開くなど、「電子図書館」や「スマート登録」などwithコロナで力を発揮する新サービスの周知にも引き続き取り組むとともに、来館くださった利用者の方には魅力的な展示や特集を用意して来館の喜びを感じていただけるよう、また児童利用者に対しては「4館合同スタンプラリー」や津田図書館の「妖怪クイズラリー」といった季節ごとの児童イベントなどを行うことで頻繁に来館してもらえるよう、様々な工夫をしてまいりました。

令和5年度も新型コロナウイルス感染症対策をしっかり行いながら、市民や地域に役立つ図書館、暮らしや地域の課題解決、豊かな読書を支える情報拠点として多様な資料や情報を収集・提供し、一番の利用者である高齢者には居場所づくりに努め、児童利用者やその家族に対しても何度でも足を運びたいような親しみのある図書館を目指してまいります。

＜楠葉＞

楠葉図書館の貸出冊数・利用者人数・予約件数は7分館の中では二番目の多さで、日々多くの方にご利用いただいています。しかしながら残念なことに貸出冊数、利用者人数・予約件数とも若干減少気味となっております。 今後は楠葉図書館の利用を促進するため、着実かつ迅速なサービス提供を徹底するとともに、魅力ある展示やイベントをこれまでより数多く企画することで来館を促し、貸出冊数等の増加に繋げてまいります。

【センターとの連携（一体運営）について】

今年度もセンターと一体となった運営の基本となる合同朝礼や避難訓練、利用者の問い合わせへの対応の他、合同企画イベント（おはなしワールド）、センター自主事業に合わせておはなし会を実施したり関連資料を展示する「ミニ展示」を行ったりなど常にセンタースタッフと連携して取り組んでまいりました。図書館で実施している季節ごとの「4館合同スタンプラリー」では児童がセンターを訪れるミッションを必ず盛り込むようにし、センターとの一体感を児童利用者にもアピールしました。またセンター事務室前に設置している利用者向け図書館PRの案内板（新着本のお知らせ、イベントのお知らせ等）を定期的に更新してまいりました。

【図書館利用状況について】

前年度と比較すると2万冊の減少となりました。4年度は、9月にシステムリプレイスによる休館もあり前年度よりも上半期の貸出冊数が目立ちましたが、1月2月3月と前年度とほぼ同数まで盛り返してきました。令和5年度もこの流れを受け、引き続き利用拡大を図ってまいります。

＜令和4年度実績＞

個人貸出冊数：399,120冊（去年同期:420,011冊）（対前年度比 95%）

貸出人数：133,356人（去年同期 138,039人）（対前年度比 96%）

新規登録者数：980人（去年同期 1,077人）（対前年度比 91%増）

＜津田＞

津田図書館の貸出冊数・予約件数・利用者数こそ各分館の中で中間に位置しておりますが、きめ細やかな対応・サービスにより近隣の利用者様からは親しみを持ってご利用いただいております。これまで児童向けのサービスが多くなっていましたが、今年度は、課題だった月曜日の利用増を目指し成人の方向けにもスタンプカードを行うなどした結果成人の方にも多く来ていただけるようになりました。今後も多くの方に来館しご利用いただけるよう、魅力あるイベントの企画・実施および特集の展開、きめ細やかなサービスを提供してまいります。

【センターとの連携（一体運営）について】

今年度も合同消防訓練を行ったり、センターのロビーには毎週の新刊情報を貼りだしてセンター利用者様への図書館アピールにも努め、連携を強めました。またセンター開催イベントにおいて図書館の関連図書を紹介し、その様子をSNSで紹介したり、図書館の季節ごとの児童イベントには必ずセンターを訪れる仕組みを取り入れ図書館利用者様にセンターへ親しみを持っていただく工夫をしました。今年度もコロナのため中止となった津田フェスタが令和5年度は開催されることとなり、津田図書館も参加が決定しています。さまざまな取り組みを通じてセンターと連携して一体運営に取り組んでまいります。 また図書館の季節ごとの児童イベントには必ずセンターを訪れる仕組みを取り入れ図書館利用者様にセンターへ親しみを持っていただく工夫をしたり、センターのロビーには毎週の新刊情報を貼りだしてセンター利用者様への図書館アピールにも努め、連携を強めました。センター及び図書館が枚方市のプラごみダイエツトへ参加した際は、図書館に関連図書を集めた特集コーナーを設置し、連携してセンター図書館それぞれ

の特色を生かした取り組みを行いました。

【図書館利用状況について】

前年度と比較するとほぼ横ばいとなりました。上半期は利用が減少した月が多かったものの、下半期は貸出冊数・人数ともにすべての月で前年を上回ることができました。引き続きたくさんの方に津田図書館を利用いただけるよう魅力ある図書館にしていきたいと思います。

＜令和4年度実績＞

個人貸出冊数:202,195冊（昨年同期:202,713冊）（対前年度比 99 %）

貸出人数 :56,889人（昨年同期:56,484人）（対前年度比101%）

新規登録者数:635人（昨年同期:651人）（対前年度比98%）

4 所管部署による二次評価（総括）

(1) 評価項目ごとの評価結果（再掲）

評価項目		評価結果
1 業務の履行状況		
(1)	選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項	A
(2)	施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）	A
(3)	募集要項・仕様書記載事項等に関する事項	A
(4)	改善指示等への対応状況	
2 業務の継続性・安定性		A

(2) 二次評価コメント

◆センター

令和4年度はコロナ禍がある程度落ち着きを見せ、活動が再び活発になってきた時期であったが、利用が回復するのをただ待つだけではなく、利用者の安全と安心に配慮しつつ、多くの事業を実施した。ホームページ、SNS、YouTube等を積極的に活用し、情報発信に努め、サークル活動の活性化に尽力されたことを評価する。また、市内の大学や障害者施設、各種の団体等、地域のリソースを活かした事業を展開し、地域を巻き込んだ街づくりに貢献され、日々の貸館業務においても、利用者の声を反映させることができないか考え、市と適宜連携をとりながら、できる限りご要望に応えようとしたことについても評価する。これまで生涯学習市民センターの指定管理者として得た経験・知識・人脈を活かし、令和5年度以降についても、さらに市民が生涯にわたって学び続けることができる環境の醸成及びこれらの活動を通じた市民との協働によるまちづくりの推進に取り組んでいただきたい。

◆図書館

特に子どもの読書のきっかけづくりとなるイベントを積極的に企画・実施していることを評価する。市内 4 施設の管理運営を行っている強みを生かし、他館での好事例の事業については、相互に取り入れたり改良したりしながら、更なる利用者サービス向上を図っていかれることを期待する。

今後も市民に学びの場を提供すると同時に、学習成果の発表の場や交流の場として図書館が利用されるような取り組みを企画・実践することを期待する。

今年度で指定管理期間も終了であるが、途中、新型コロナウイルス感染症の影響を受けることとなったが、概ね適正に管理運営業務を行っていると評価できる。また、令和 5 年度から令和 9 年度の指定管理者として指定されたことから、今後も引き続き適正な施設の管理運営業務を行うとともに、感染対策や利用促進に努めていただきたい。

5 添付資料

◆利用者アンケート結果

◆利用状況・収支状況